

市原市

のうまんぶんく

かみこかいづか

能満分区遺跡群（上小貝塚地区第6地点）・

おぎさくみやのだい

おぎさくやかたあと

荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡

2022

東京電力パワーグリッド株式会社
市原市教育委員会

例 言

- 1 本報告書は、千葉県市原市能満字上小貝塚1925-276に所在する能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)と、市原市荻作字宮ノ台305-4他に所在する荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、五井火力線鉄塔増強工事に伴い、東京電力パワーグリッド株式会社の委託を受け、千葉県教育委員会の指導のもと、市原市埋蔵文化財調査センターが実施した。
- 3 発掘調査について、能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)は開発範囲13,003㎡のうち、222㎡を対象として実施した本調査である。これは、令和3年度に東京電力パワーグリッド株式会社の費用負担で当センターが実施した22.2㎡の確認調査の結果を受けたものである。荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡は、開発範囲20,566㎡のうち、745㎡を対象として実施した本調査である。これは、令和3年度に東京電力パワーグリッド株式会社の費用負担で当センターが実施した74.5㎡の確認調査の結果を受けたものである。
- 4 発掘調査・整理作業は、以下のとおりに行った。
 - (1) 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)
確認調査 令和3年8月16日～8月24日 担当 小川浩一・石川 蒼・鈴木宏和
本調査 令和3年10月4日～10月21日 担当 鈴木宏和
整理作業 令和3年11月16日～令和4年3月18日 担当 鈴木宏和
 - (2) 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡
確認調査 令和3年8月25日～9月3日 担当 小川浩一・石川 蒼・鈴木宏和
本調査 令和3年10月20日～11月15日 担当 鈴木宏和
整理作業 令和3年11月16日～令和4年3月18日 担当 鈴木宏和
- 5 本書の執筆・編集は鈴木宏和が行った。
- 6 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)の調査コードはセ589(確認調査)・セ592(本調査)である。荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡の調査コードはセ590(確認調査)・セ593(本調査)である。
- 7 出土遺物と記録類は、市原市教育委員会生涯学習部ふるさと文化課埋蔵文化財調査センター(千葉県市原市能満1489番)で収蔵、保管している。
- 8 図版2・10はAgisoft Metashape Professional(64bit) ver.1.6.0により作成した。
- 9 平面図及び断面図の「K」は攪乱を示している。また、能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)の平面図は、攪乱範囲を網掛けで示した。
- 10 本書内において、()を付した数値は残存値、?を付した数値は推定値を表す。
- 11 挿図におけるスクリーン・トーン・遺物表示の用例は下記による。

凡 例		遺物
遺構(平面図および断面図)		遺物点(土器)
 炉火床面	 焼土	遺物点(土製品)
 遺物包含層	 攪乱	遺物点(石製品)
		赤彩

目 次

能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点).....	1
荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡.....	21
第1図 調査遺跡位置図.....	2
第2図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)及び周辺遺跡位置図.....	2
第3図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)調査区全体図.....	3
第4図 遺物包含層、Pit22・82遺構.....	11
第5図 SK2・4、Pit18・19・58・73・75・77・78・80遺構.....	12
第6図 SK5・6・7・9、Pit15・42・46・47・49・50・51・52・53・54・59・62遺構.....	13
第7図 SK10・11・12・13・14、Pit25・29・30・33・35・36・37・38遺構.....	14
第8図 SK15・16・17・19・20・21、Pit1・12・24遺構.....	15
第9図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)遺物実測図(1).....	16
第10図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)遺物実測図(2).....	17
第11図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)遺物実測図(3).....	18
第12図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)遺物実測図(4).....	19
第13図 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡及び周辺遺跡位置図.....	22
第14図 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 調査区全体図.....	23
第15図 SS1(1)・SK2(1)・SK5(1)・Pit1(1)遺構.....	28
第16図 SS1(2)・SK5(2)遺構.....	29
第17図 SS1(3)・SK2(2)・Pit1(2)遺構.....	30
第18図 SS2、SK1・3・4遺構.....	31
第19図 SD1・2遺構.....	32
第20図 S11遺構.....	33
第21図 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 遺物実測図.....	34
第1表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)土坑・ピット一覧.....	10
第2～4表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)出土遺物観察表.....	35
第5表 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 出土遺物観察表.....	38
図版 1 遺跡の位置と周辺地形	
図版 2～6 遺構 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)	
図版 7～9 遺物 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)	
図版 10～14 遺構 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡	
図版 14 遺物 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡	

能満分区遺跡群（上小貝塚地区第6地点）

1 調査に至る経緯

東京電力パワーグリッド株式会社は、工事に先行し令和3年4月9日付けで、文化財保護法第93条第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」を千葉県教育委員会教育長宛に提出した。

届出を受けて市原市教育委員会が試掘を実施し、遺構と遺物が確認された。その後、千葉県教育委員会の指示を受け、事業範囲のうち22.2㎡を対象に、市原市教育委員会が確認調査を行った。

確認調査の結果に基づいて、東京電力パワーグリッド株式会社と千葉県教育委員会及び市原市教育委員会によって協議が行われ、掘削が発生する222㎡を対象に本調査が実施された。

2 遺跡の位置

能満分区遺跡群は市原市台地中央部、新田川と神崎川の開析谷に挟まれた、標高42m前後の台地上中央部に位置し、隣接する市道より1.6m程高い地点に存在する（第1図）。近隣では、北方向約440mに能満分区遺跡群（忍澤1989）第1地点①と、能満上小貝塚遺跡（忍澤1995）第3地点③がある。また、当遺跡に隣接する市道建設に伴う調査が行われており、これを能満分区遺跡群（半田1990）第2地点②と命名した。調査順に地点名を付すと、今回調査区は、第6地点となる。当遺跡群南端の能満分区貝塚（近藤ほか2014）は、字貝殻塚に位置している。

3 調査の成果

(1) 調査概要

今回の調査では、世界測地系（測地成果2011）に基づいて測量基準点を打設した。表土は重機により除去し、遺構プランを確認した。調査区内は攪乱の影響を強く受けていたため、遺構の残存状況は不良だった。今回の調査では、縄文時代土坑21基、縄文時代ピット82基を検出した（第3図、図版2）。

(2) 遺構と遺物

土坑

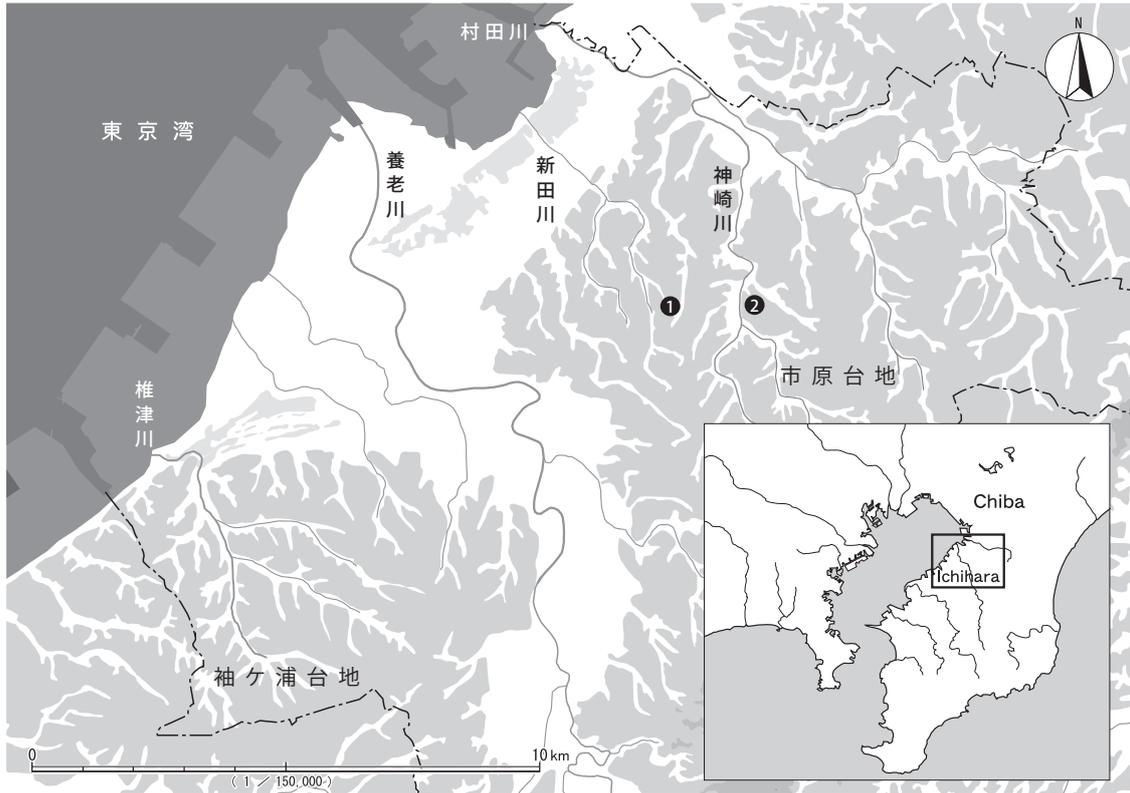
本文に掲載しきれなかったものは、第1表にまとめた。また、遺物は出土したものの中で、残りの良いものを抽出して図示した。

SK2（第5・9図、図版5・7）

形状：長円形 規模：1.66m×1.20m 深さ：0.21m 遺物：縄文土器31点（後期9点、中期～後期20点、不明2点）

SK4（第5・9図、図版7）

形状：長円形 規模：1.16m×0.80m 深さ：0.20m 遺物：縄文土器17点（後期5点、中期～後期6点、不明6点）、石器（黒曜石石核1点）



① 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) ② 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡

第1図 調査遺跡位置図



第2図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)及び周辺遺跡位置図

X=55,915.3982
Y= 28,488.4861
(日本測地系)

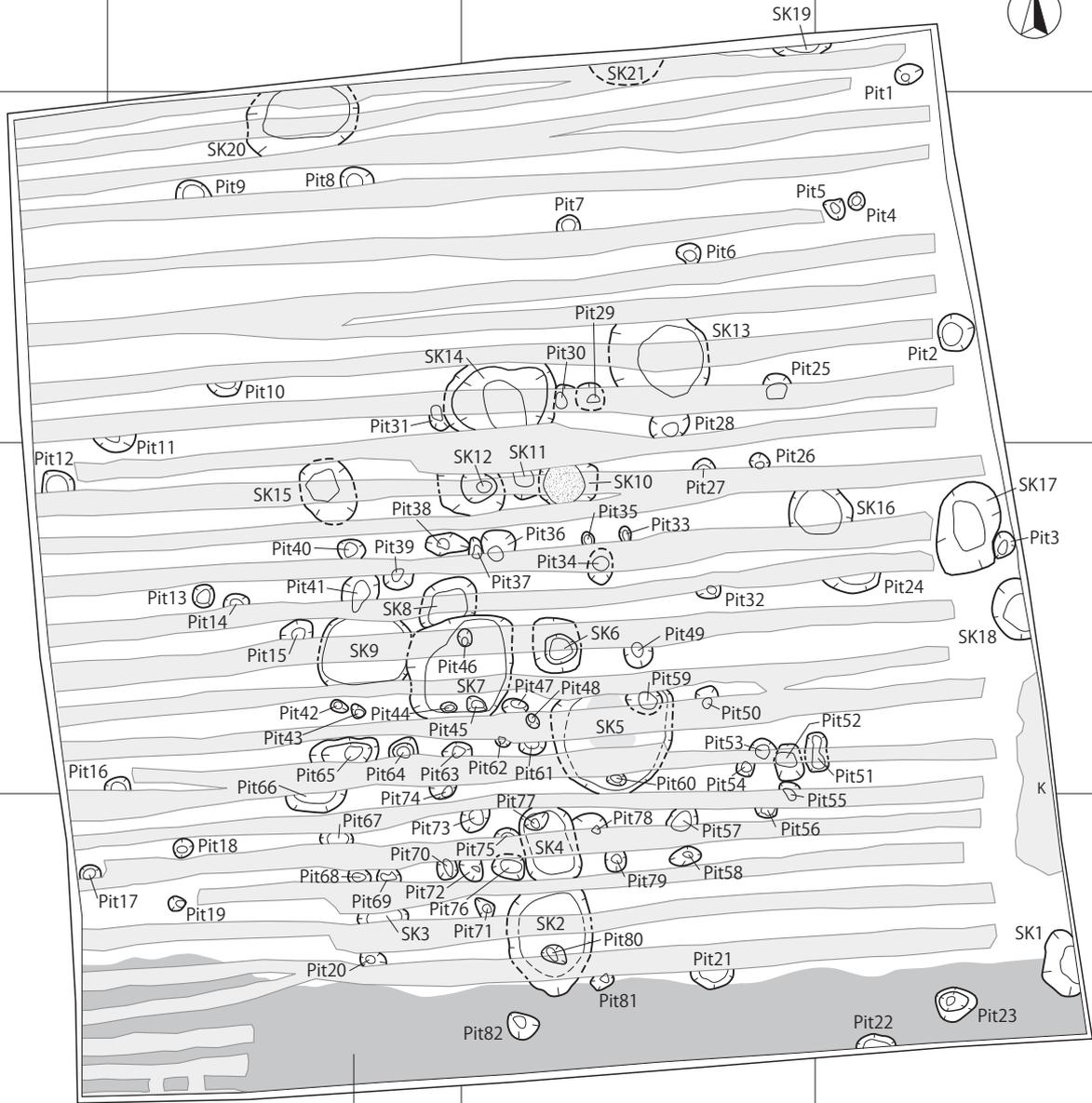
X=55,560

Y=28,195

Y=28,200

Y=28,205

Y=28,210



遺物包含層

X=55,570

X=55,575

X=55,580

0 3m
(1/100)

X=55,585

第3図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)調査区全体図

SK5(第6・9図、図版5・7)

形状：楕円形 規模：1.70m×1.65m 深さ：0.52m

4層覆土中に焼土を含む。遺物は縄文土器が21点(中期～後期12点、中期1点、不明8点)出土。

SK6(第6・9図、図版7)

形状：楕円形 規模：0.80m×0.70m 深さ：0.74m 遺物：縄文土器6点(後期2点、中期～後期3点、不明1点)

SK7(第6・9図、図版7)

形状：楕円形 規模：1.66m×1.50m 深さ：0.36m 遺物：縄文土器71点(後期9点、中期～後期52点、不明10点)

SK8(第9図、図版7)

形状：円形 規模：0.85(推定)m×0.78(推定)m 深さ：0.41m 遺物：縄文土器13点(後期1点、中期～後期2点、不明10点)

SK9(第6・9図、図版5・7)

形状：円形 規模：1.40m×1.20(推定)m 深さ：0.27m 遺物：縄文土器9点(後期2点、中期～後期7点)

SK10(第7図、図版6)

形状：円形 規模：0.86(推定)m×0.85(推定)m 深さ：0.40m

SK11および遺物包含層を切る。地山面が脆くなるほどの熱作用を受ける。縄文土器5点(後期1点、中期～後期4点)出土。

SK11(第7・9図、図版7)

形状：円形 規模：0.52m×?m(攪乱のため不明) 深さ：0.36m

SK10とSK12に切られる。遺物は縄文土器が51点(後期1点、不明50点)出土。出土遺物17は称名寺I式の深鉢である。口縁部から底部まで垂下隆線を貼り付け、口縁部・隆線上に棒状工具で列点を施す。

SK12(第7・9図、図版6・7)

形状：円形 規模：1.04m×0.86m 深さ：0.57m 遺物：縄文土器2点(中期～後期1点、中期1点)

SK13(第7・9図、図版6・7)

形状：円形 規模：1.54m×1.40m 深さ：0.84m 遺物：縄文土器29点(後期12点、中期～後期12点、中期1点、不明4点)

SK14(第7・9図、図版6・7)

形状:楕円形 規模:1.62m×1.26m 深さ:0.46m 遺物:縄文土器7点(後期2点、中期～後期4点、不明1点)

SK15(第8・9図、図版6・7)

形状:楕円形 規模:0.98m×0.76m 深さ:0.78m 遺物:縄文土器5点(後期1点、中期～後期1点、不明3点)

SK16(第8・9図、図版6・7)

形状:円形 規模:0.96m×0.90m 深さ:0.56m 遺物:縄文土器15点(後期7点、不明8点)

SK17(第8・9図、図版6・7)

形状:長円形 規模:1.36m×0.82m 深さ:0.41m 遺物:縄文土器23点(後期4点、中期～後期18点、不明1点)

SK19(第8・9図、図版5・7)

形状:不明(遺構が調査区外に伸びているため) 規模:1.20m×?m 深さ:0.80m

遺物包含層を切る。遺物は縄文土器が15点(後期6点、中期～後期3点、不明6点)出土。出土遺物29は縄文時代後期前葉の土器(深鉢)である。爪形状工具による刺突を8～10個ほど密に施し、それを1単位として口縁～胴部に充填する。

SK20(第8図)

形状:楕円形 規模:1.56m×1.30(推定)m 深さ:0.46m

遺物は出土していないが、調査区北部に形成された遺物包含層を切っていることから、縄文時代後期の所産と思われる。

SK21(第8・10図、図版5・8)

形状・規模:不明(遺構が調査区外に伸びているため) 深さ:0.42m

遺物は縄文土器35点(後期32点、中期～後期1点、不明2点)出土。出土遺物32・33および34・35は同一個体である。

遺物包含層(第4・7・8・10図、図版4・7・8)

調査区南部・中央部・北部の土層断面で存在が確認できる。しかし、面的に捉えられたのは、攪乱を免れた調査区南壁付近のみである。遺物は縄文土器が144点(後期32点、中期～後期106点、中期5点、不明1点)、石器が4点(黒曜石石錐?1点、黒曜石剥片3点)、土器片錘が1点出土。縄文時代中期以前の堆積層が確認できず、遺物がソフトローム直上のd層から出土していることから、遺物包含層の形成に先立って台地が一部削平された可能性がある。また、層は調査区中央部に向か

って僅かに傾斜しながら堆積している。そのため出土遺物38・42・47が南壁際のd層のレベルより下部に分布している。出土遺物から縄文時代後期の所産と思われる。

ピット

本文に掲載しきれなかったものは、第1表にまとめた。また、遺物は出土したもののうち、残りの良いものを抽出して図示した。

Pit1(第8・11図、図版8)

規模:0.40m×0.28m 深さ:0.50m 遺物:縄文土器3点(後期1点、不明2点)

Pit12(第8・11図、図版8)

規模:0.48m×0.48m 深さ:0.24m 遺物:縄文土器4点(中期～後期3点、中期1点)

Pit18(第5・11図、図版8)

規模:0.26m×0.26m 深さ:0.26m 遺物:縄文土器5点(後期2点、不明3点)

Pit19(第5・11図、図版8)

規模:0.22m×0.20m 深さ:0.52m 遺物:縄文土器4点(後期2点、中期～後期2点)

Pit22(第4・11図、図版4・8)

規模:0.54m×?m 深さ:0.60m

遺物は縄文土器28点(後期10点、中期～後期16点、中期1点、不明1点)出土。調査区外に続く。遺物包含層を切る。出土遺物から縄文時代後期の所産と思われる。

Pit24(第8・11図、図版8)

規模:0.86m×0.50(推定)m 深さ:0.24m 遺物:縄文土器6点(後期1点、不明5点)

Pit25(第7図)

規模:0.42(推定)m×0.42(推定)m 深さ:0.51m 遺物:縄文土器1点(中期～後期1点)

Pit29(第7図)

規模:0.46m×0.46m 深さ:0.56m 遺物:出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit30(第7図)

規模:0.44m×0.44m 深さ:0.32m 遺物:出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit31

規模：0.44m×0.30m 深さ：0.35m 遺物：出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit33（第7図）

規模：0.24m×0.18m 深さ：0.20m

遺物包含層を切る。遺物出土はないが縄文時代中期～後期の所産と思われる。

Pit35（第7図）

規模：0.24m×0.18m 深さ：0.19m

遺物包含層を切る。縄文土器1点（後期1点）出土。

Pit36（第7図）

規模：0.56m×0.48m 深さ：0.48m

遺物包含層とPit37を切る。縄文土器7点（中期～後期5点、不明2点）出土。

Pit37（第7図）

規模：0.40m×0.26m 深さ：0.36m

Pit36とPit38に切られる。遺物出土はないが縄文時代中期～後期の所産と思われる。

Pit38（第7図）

規模：0.60m×0.26m 深さ：0.36m

Pit37を切る。遺物出土はないが縄文時代中期～後期の所産と思われる。

Pit42（第6・11図、図版8）

規模：0.26m×0.16m 深さ：0.62m 遺物：縄文土器7点（後期2点、中期～後期5点）

Pit46（第6図）

規模：不明（SK7に上端を切られる） 遺物：出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit47（第6・11図、図版8）

規模：0.38m×0.18m 深さ：0.56m 遺物：縄文土器7点（後期4点、不明3点）

Pit49（第6・11図、図版8）

規模：0.50m×0.40（推定）m 深さ：0.32m 遺物：縄文土器6点（後期3点、不明3点）

Pit50（第6図）

規模：0.36m×0.34（推定）m 深さ：0.56m 遺物：縄文土器2点（中期～後期2点）

Pit51(第6図)

規模:0.55m×0.34m 深さ:0.65m 遺物:出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit52(第6・11図、図版9)

規模:0.50m×0.36m 深さ:0.45m 遺物:縄文土器6点(中期～後期4点、不明2点)、石器1点(チャート剥片)

Pit53(第6図)

規模:0.42m×0.34(推定)m 深さ:0.44m

Pit52とPit54に切られる。遺物出土はないが縄文時代中期～後期の所産と思われる。

Pit54(第6図)

規模:0.28m×0.26m 深さ:0.56m 遺物:出土はないが縄文時代中期～後期の所産か

Pit58(第5・11図、図版9)

規模:0.44m×0.26m 深さ:0.97m 遺物:縄文土器9点(後期1点、中期～後期4点、中期1点、不明3点)

Pit59(第6図)

規模:0.50m×0.42m 深さ:0.44m 遺物:縄文土器2点(後期2点)

Pit62(第6・11図、図版9)

規模:0.55m×0.34m 深さ:0.65m 遺物:縄文土器5点(後期2点、不明3点)

Pit73(第5・11図、図版9)

規模:0.44m×0.36m 深さ:0.36m 遺物:縄文土器5点(後期3点、不明2点)

Pit75(第5図)

規模:0.36m×0.30(推定)m 深さ:0.29m 遺物:縄文土器6点(後期1点、中期～後期3点、不明2点)

Pit77(第5・11図、図版9)

規模:不明(SK4に上端を切られる) 遺物:縄文土器2点(後期1点、不明1点)

Pit78(第5・11図、図版9)

規模:不明(SK4に上端を切られる) 遺物:縄文土器6点(後期3点、中期～後期3点)

Pit80(第5・11図、図版9)

規模：不明(SK2に上端を切られる) 遺物：縄文土器1点(中期～後期1点)

Pit82(第4・11図、図版9)

規模：0.42m×0.38m 深さ：0.56m

遺物包含層を切る。縄文土器7点(後期3点、不明4点)出土。

遺構外(第12図、図版9)

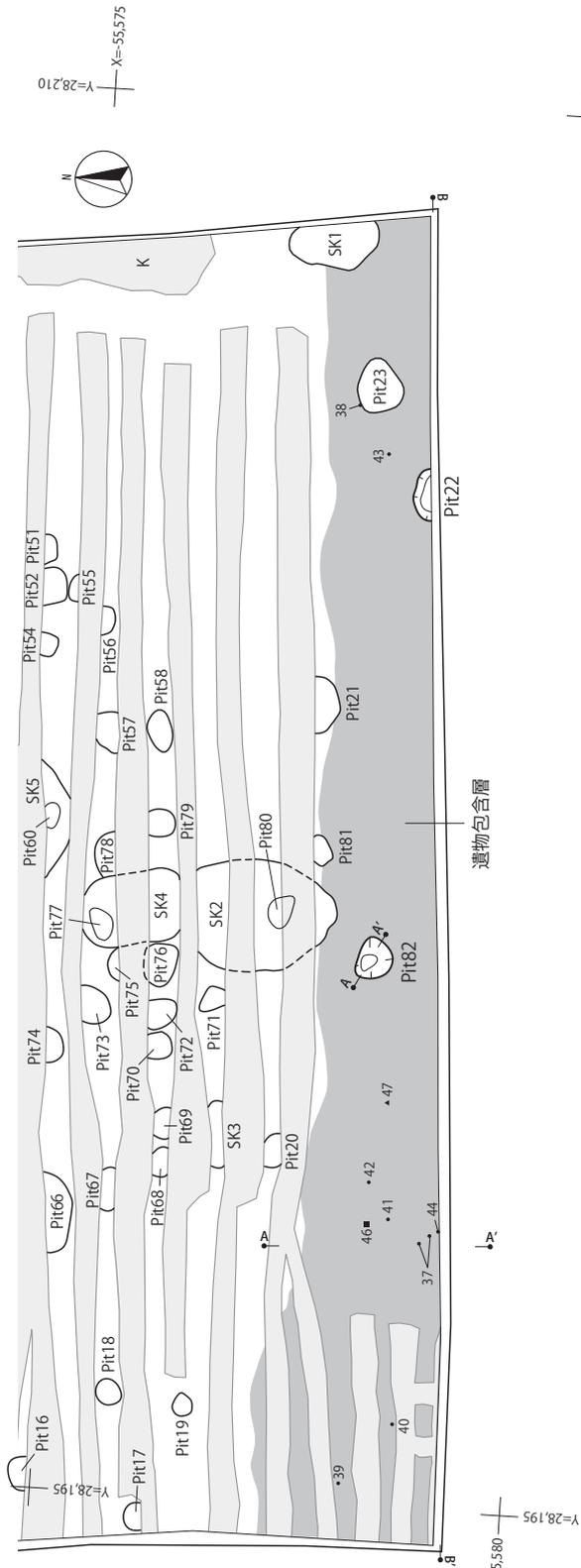
遺物は縄文土器2,992点(後期151点、中期～後期2,769点、中期40点、不明32点)、石器10点(チャート剥片4点、無斑晶安山岩剥片1点、黒曜石剥片5点、)、土製品2点(土器片錘1点、不明土製品1点)出土。その中で残りの良いものを抽出して図示した。多くは攪乱内から出土しており、元は遺物包含層・土坑・ピット内の遺物であったと思われる。109は、縄文土器片を加工した不明土製品である。表面に土器の沈線が一部残存することから土器破片の側面を削り小円盤状に加工したものである。さらにその後、側面に溝を1条巡らせている。

第1表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 土坑・ピット一覧

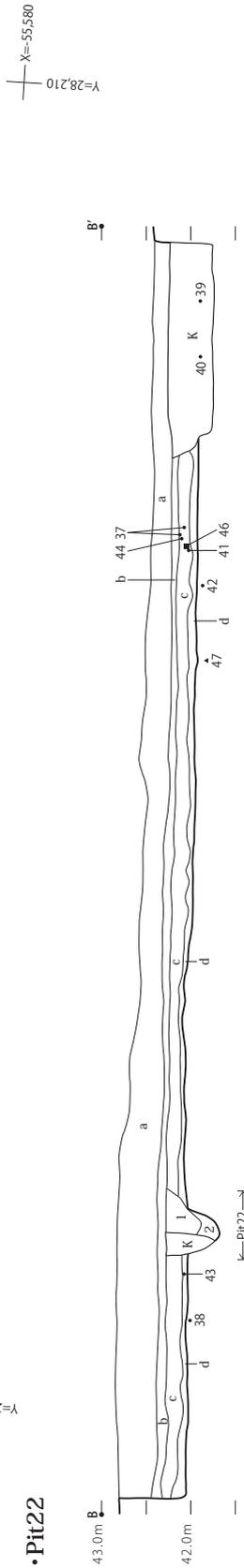
(※断面非図化の遺構のみ)

遺構 No.	長軸 (m)	短軸 (m)	深度 (cm)	時期	備考
SK1	0.95	0.75 ?	28.7	縄文時代後期 ?	遺物出土なし、遺物包含層を切る
SK3	0.70	—	20.2	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
SK18	0.86	—	23.0	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit2	0.55	0.50	15.0	縄文時代中期～後期	中期～後期 3 点
Pit3	0.40	0.30	26.7	縄文時代中期～後期	中期～後期 1 点
Pit4	0.25	0.25	14.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit5	0.31	0.24	14.8	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit6	0.32	0.30	40.2	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit7	0.35 ?	0.30	7.7	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit8	0.45	—	27.7	縄文時代後期	後期 2 点
Pit9	0.50	—	29.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit10	0.45	—	19.5	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit11	0.60	—	25.0	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit13	0.30	0.30	42.7	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit14	0.35	—	9.6	縄文時代中期～後期	中期～後期 1 点、時期不明 4 点
Pit15	0.43	—	17.3	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit16	0.35	—	14.0	縄文時代中期～後期	中期～後期 1 点
Pit17	0.28	—	21.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit20	0.32	—	26.3	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit21	0.60	—	13.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit23	0.58	0.48	29.5	縄文時代中期～後期	中期～後期 2 点、遺物包含層を切る
Pit26	0.26	0.24	28.5	縄文時代中期～後期	中期～後期 1 点、中期 1 点
Pit27	0.30	—	16.0	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit28	0.55	—	16.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit32	0.35	—	47.0	縄文時代中期～後期 ?	時期不明 2 点
Pit34	0.60 ?	—	37.8	縄文時代中期～後期	中期～後期 1 点、時期不明 1 点
Pit39	0.40	—	25.5	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit40	0.39	0.34	24.4	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit41	—	0.50	45.0	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit43	0.20	0.15	21.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit44	—	—	—	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし、SK7 に上端を切られる
Pit45	—	—	—	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし、SK7 に上端を切られる
Pit48	—	—	—	縄文時代中期～後期 ?	時期不明 4 点、攪乱に上端を切られる
Pit55	0.42	—	34.3	縄文時代中期～後期	中期～後期 2 点
Pit56	0.30	—	25.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit57	0.45	—	34.8	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit60	—	—	—	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし、SK5 に上端を切られる
Pit61	0.36	—	51.7	縄文時代中期～後期	中期～後期 4 点
Pit63	0.40	—	38.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit64	0.40	0.40 ?	31.5	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit65	0.90	—	33.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit66	0.85	—	12.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit67	0.45	—	21.6	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit68	0.30	—	28.3	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit69	0.32	—	32.9	縄文時代中期～後期	中期～後期 2 点
Pit70	0.35 ?	0.25	45.9	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit71	0.38	0.24	42.5	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit72	0.35	0.30	88.4	縄文時代中期～後期 ?	時期不明 1 点
Pit74	0.40	—	56.0	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit76	0.50	0.35	56.1	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit79	0.38	0.30	31.3	縄文時代中期～後期 ?	遺物出土なし
Pit81	0.30	0.20	54.0	縄文時代中期～後期 ?	時期不明 1 点

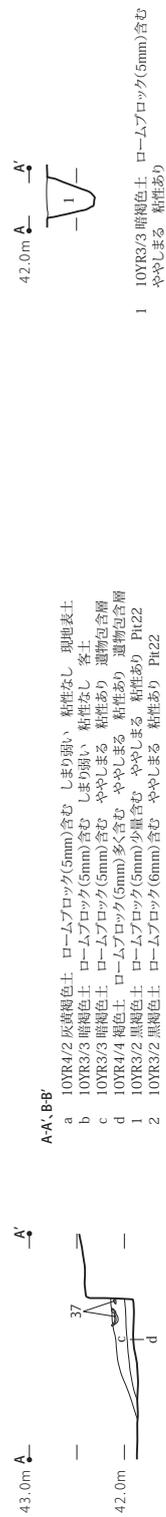
遺物包含層・Pit22・82



遺物包含層・Pit22

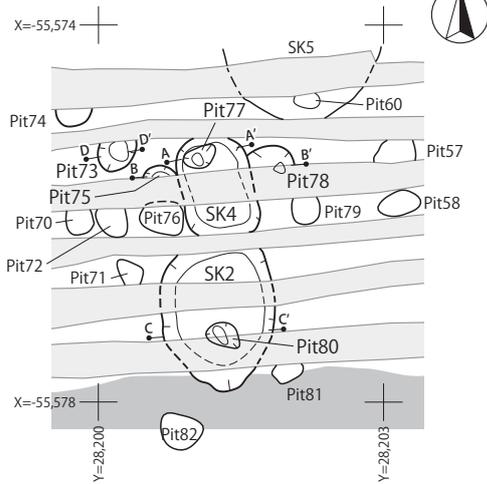


Pit82

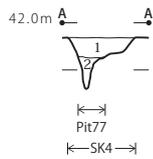


第4図 遺物包含層、Pit22・82 遺構

SK2・4・Pit73・75・77・78・80

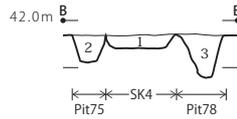


SK4・Pit77



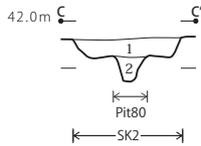
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性あり SK4
- 2 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし Pit77

SK4・Pit75・78



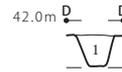
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり SK4
- 2 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり Pit75
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし Pit78

SK2・Pit80

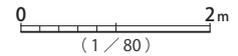


- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり SK2
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり Pit80

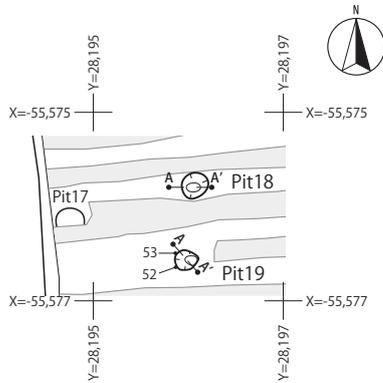
Pit73



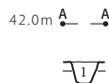
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性あり



Pit18・19

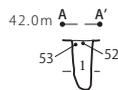


Pit18

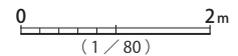


- 1 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり

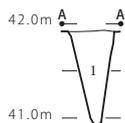
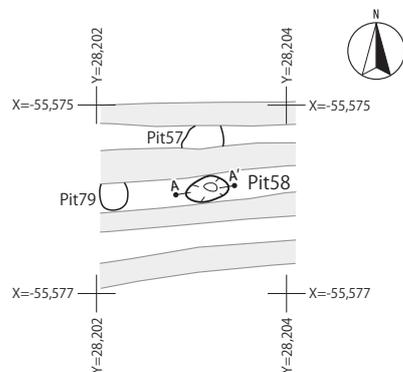
Pit19



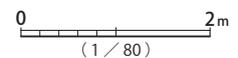
- 1 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり



Pit58

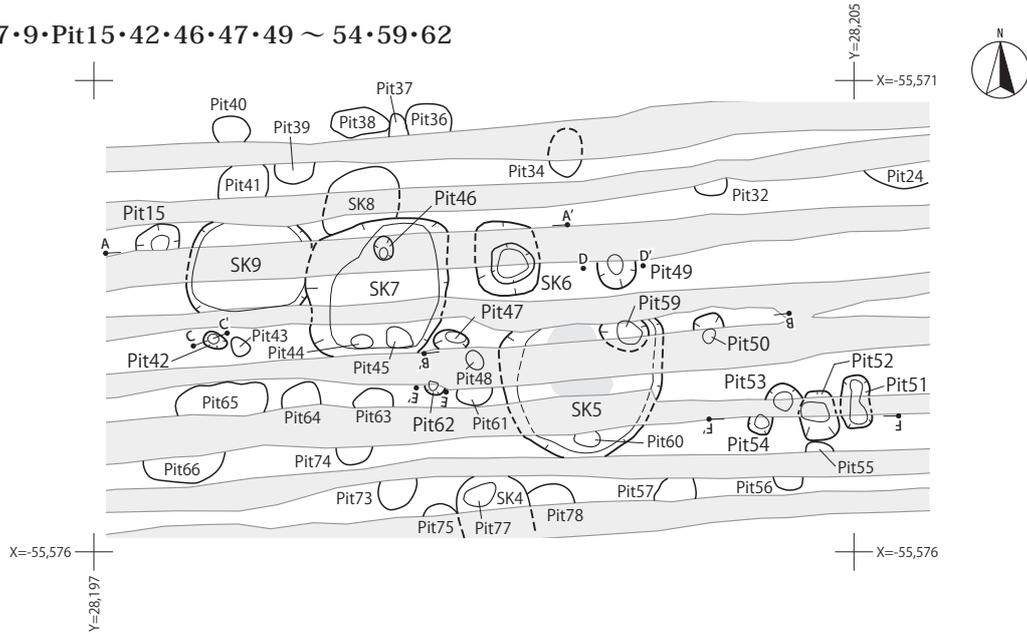


- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性あり

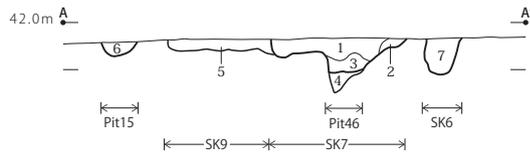


第5図 SK2・4、Pit18・19・58・73・75・77・78・80遺構

SK5 ~ 7・9・Pit15・42・46・47・49 ~ 54・59・62

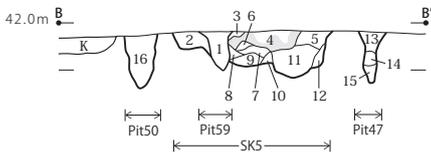


SK6・7・9・Pit15・46



- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 15mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり 1 ~ 3層 SK7
- 2 10YR5/6 黄褐色土 ロームブロック(5 ~ 15mm)多く含む
ややしまる 粘性あり
- 3 10YR3/2 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 15mm)多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性なし
- 4 10YR3/2 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性なし Pit46
- 5 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり SK9
- 6 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしまる 粘性あり Pit15
- 7 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり SK6

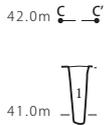
SK5・Pit47・50・59



SK5・Pit47・50・59

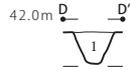
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしまる 粘性あり Pit59
- 2 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしまる 粘性あり 2 ~ 12層 SK5
- 3 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
ややしまる 粘性あり
- 4 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
焼土ブロック(5 ~ 15mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 5 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
焼土粒子(5mm以下)少量含む ややしまる 粘性なし
- 6 2.5YR3/3 暗赤褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
焼土粒子(5mm以下)少量含む ややしまる 粘性あり
- 7 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
焼土粒子(5mm以下)少量含む ややしまる 粘性なし
- 8 2.5YR3/3 暗赤褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり
- 9 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしまる 粘性なし
- 10 7.5YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
焼土粒子(5mm以下)少量含む ややしまる 粘性なし
- 11 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
焼土ブロック(5 ~ 15mm)多く含む ややしまる 粘性あり
- 12 10YR4/6 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしまる 粘性なし
- 13 10YR5/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり 13 ~ 15層 Pit47
- 14 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり
- 15 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり
- 16 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり Pit50

Pit42



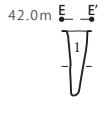
- 1 10YR3/2 黒褐色土
ロームブロック(5mm)少量含む
ややしまる 粘性あり

Pit49



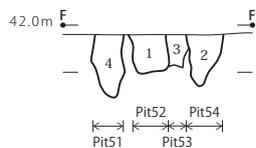
- 1 10YR3/2 黒褐色土
ロームブロック(5mm)少量含む
ややしまる 粘性あり

Pit62

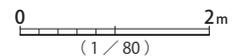


- 1 10YR3/3 暗褐色土
ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり

Pit51・52・53・54

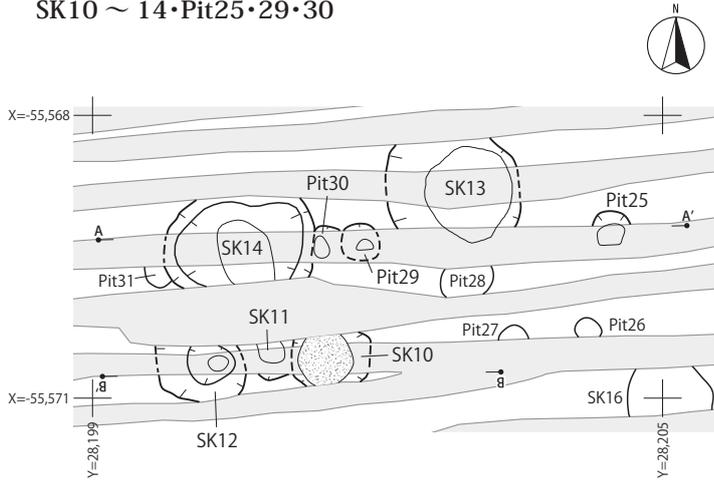


- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしまる 粘性あり Pit52
- 2 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしまる 粘性あり Pit54
- 3 10YR5/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり Pit53
- 4 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
ややしまる 粘性あり Pit51



第6図 SK5~7・9,Pit15・42・46・47・49~54・59・62遺構

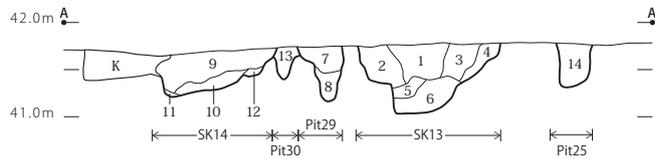
SK10 ~ 14・Pit25・29・30



SK13-14・Pit25・29・30

- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)やや多く含む
焼土ブロック(5 ~ 8mm)含む ややしめる 粘性あり 1 ~ 6 層 SK13
- 2 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土ブロック(5 ~ 8mm)含む ややしめる 粘性あり
- 3 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしめる 粘性あり
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
しまりやや弱い 粘性なし
- 5 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 15mm)多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む しまりやや弱い 粘性なし
- 6 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
しまりやや弱い 粘性なし
- 7 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり Pit29
- 8 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む しまりやや弱い 粘性なし Pit29
- 9 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり 9 ~ 12 層 SK14
- 10 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり
- 11 10YR5/6 黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
ややしめる 粘性なし
- 12 10YR5/6 黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む ややしめる 粘性なし
- 13 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり Pit30
- 14 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしめる 粘性あり Pit25

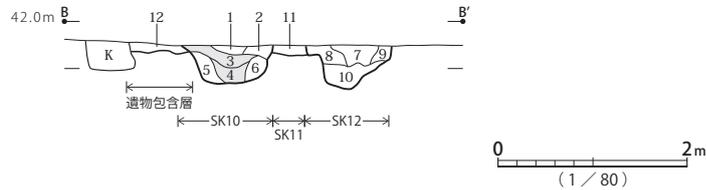
SK13・14・Pit25・29・30



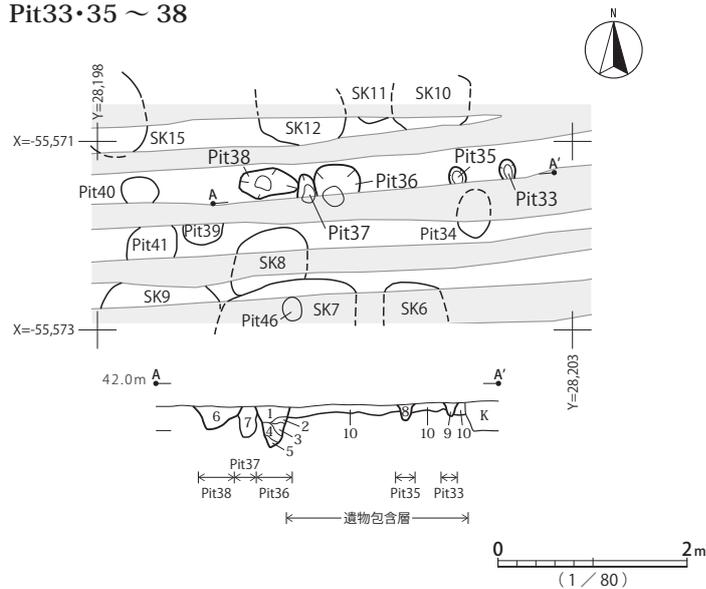
SK10 ~ 12

- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり 1 ~ 6 層 SK10
- 2 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む ややしめる 粘性なし
- 3 2.5YR3/4 暗赤褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土ブロック(5 ~ 15mm)多く含む ややしめる 粘性あり
- 4 10R4/8 赤色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)やや含む
焼土ブロック(5 ~ 15mm)多く含む しまり弱い 粘性なし
- 5 5YR4/4 にぶい赤褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む しまり弱い 粘性なし
- 6 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む しまり弱い 粘性なし
- 7 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり 7 ~ 10 層 SK12
- 8 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり
- 9 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしめる 粘性あり
- 10 10YR4/6 褐色土 ロームブロック(5 ~ 20mm)多く含む
ややしめる 粘性なし
- 11 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む ややしめる 粘性あり SK11
- 12 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土ブロック(5 ~ 7mm)含む ややしめる 粘性あり 遺物包含層

SK10 ~ 12



Pit33・35 ~ 38

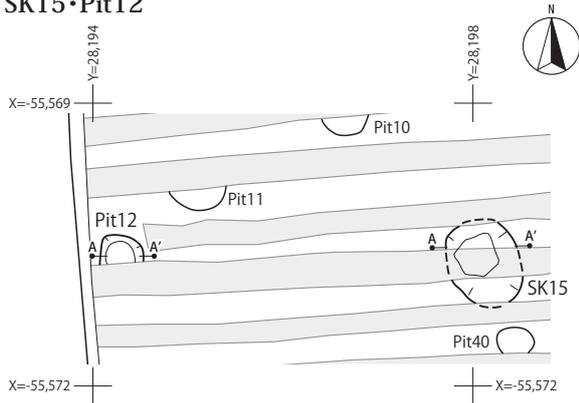


Pit33・35 ~ 38

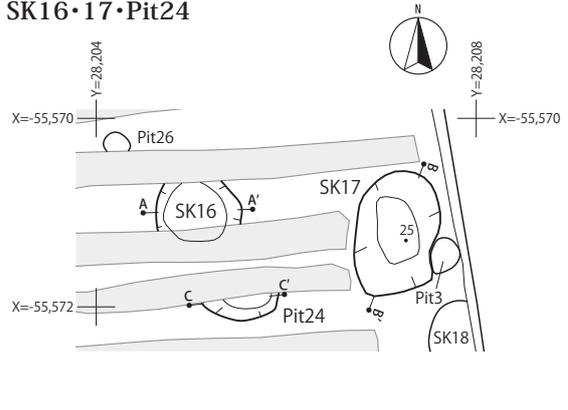
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土・炭化物粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり
1 ~ 5 層 Pit36
- 2 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしめる 粘性あり
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性なし
- 4 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm 以下)少量含む ややしめる 粘性あり
- 5 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5 ~ 10mm)多く含む
ややしめる 粘性なし
- 6 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり Pit38
- 7 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしめる 粘性あり Pit37
- 8 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり Pit35
- 9 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm 以下)含む ややしめる 粘性あり Pit33
- 10 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土ブロック(5 ~ 7mm)含む ややしめる 粘性あり 遺物包含層

第7図 SK10~14, Pit25・29・30・33・35~38遺構

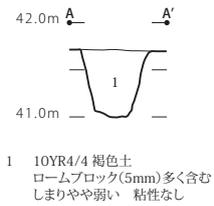
SK15・Pit12



SK16・17・Pit24

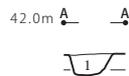


SK15

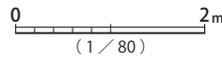


1 10YR4/4 褐色土
ロームブロック(5mm)多く含む
しまりやや弱い 粘性なし

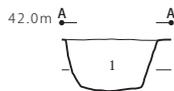
Pit12



1 10YR3/2 黒褐色土
ロームブロック(5mm)少量含む
ややしまる 粘性あり

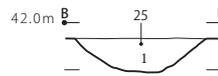


SK16



1 10YR3/3 暗褐色土
ロームブロック(5mm)多く含む
ややしまる 粘性あり

SK17



1 10YR3/3 暗褐色土
ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり

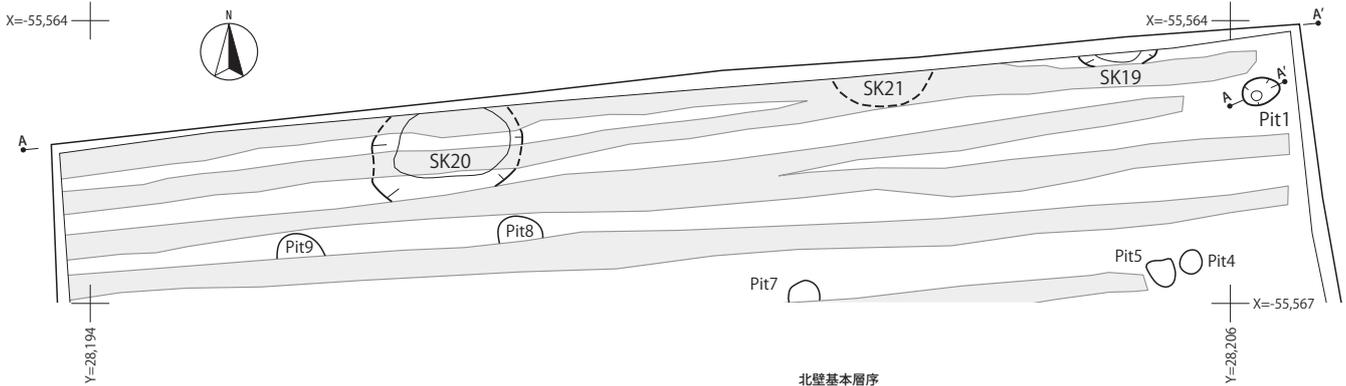
Pit24



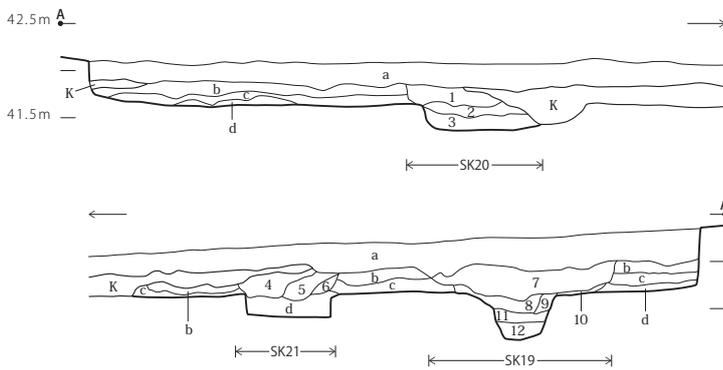
1 10YR3/2 黒褐色土
ロームブロック(5mm)少量含む
ややしまる 粘性あり



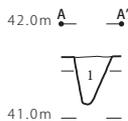
SK19 ~ 21・Pit1



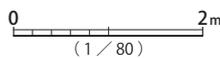
北壁基本層序



Pit1



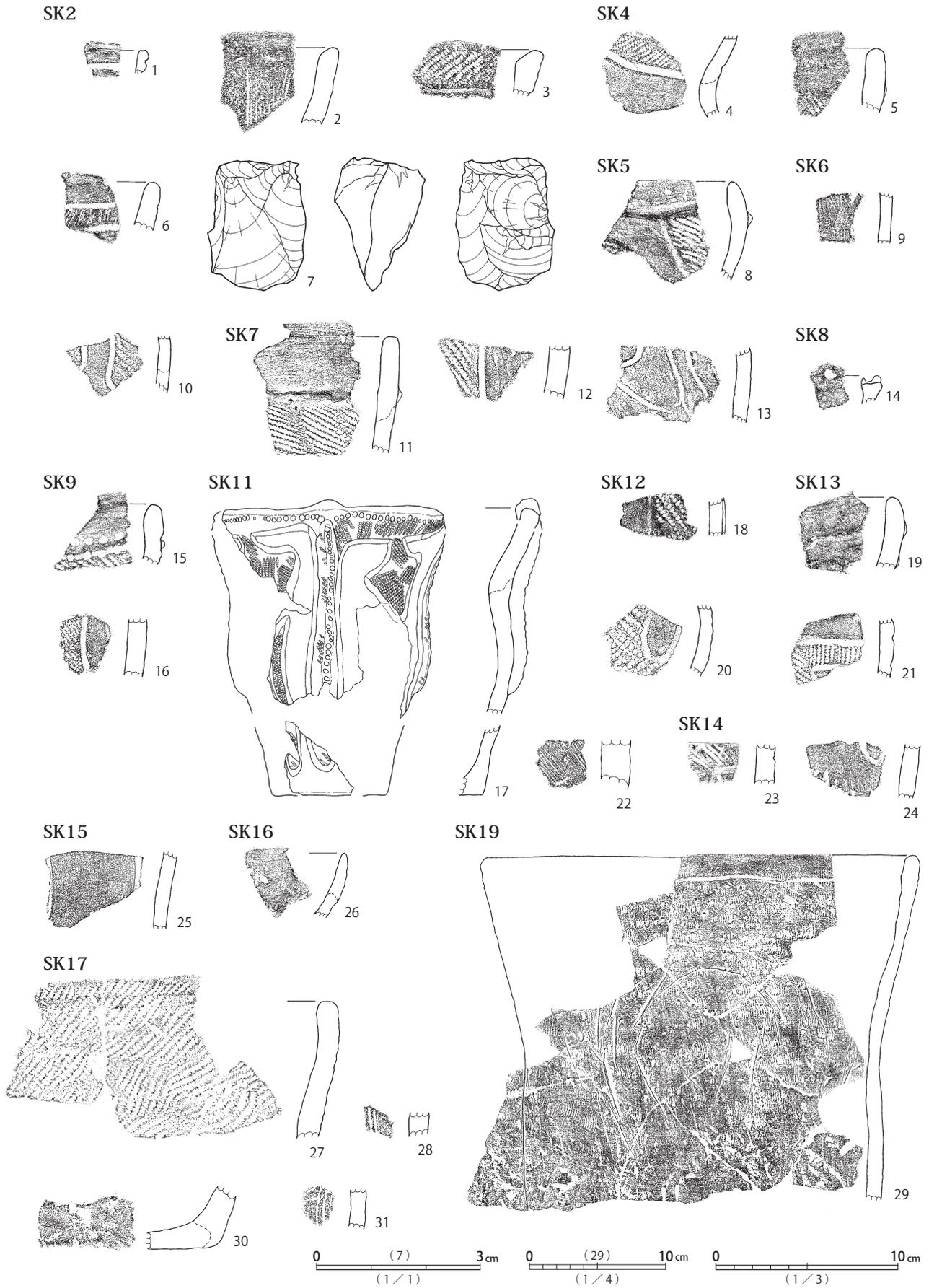
1 10YR3/3 暗褐色土
ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり



北壁基本層序

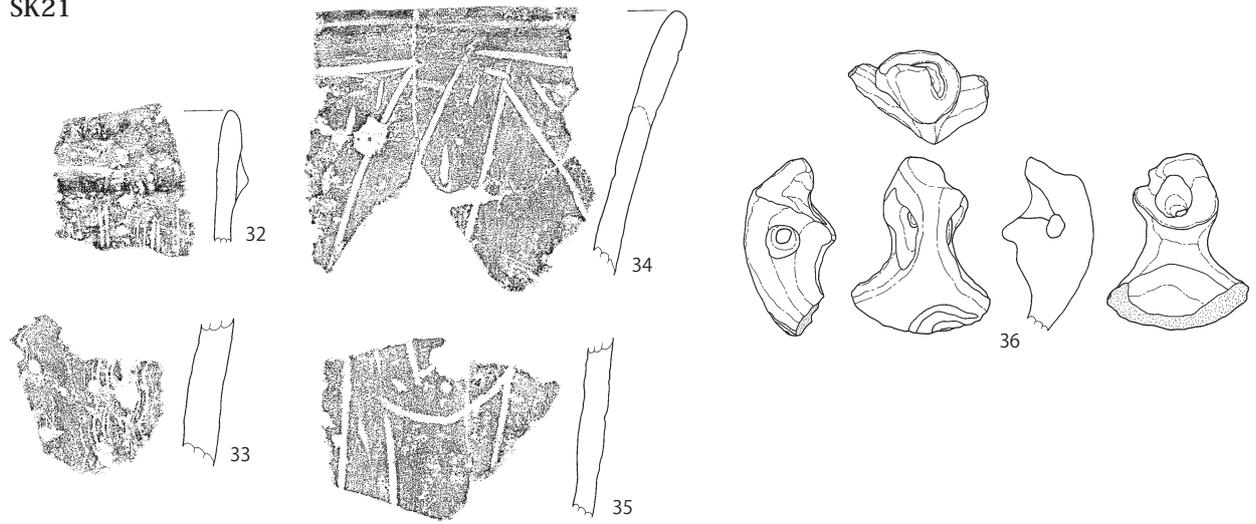
- a 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
しまり弱い 粘性なし 現地表土
- b 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり 遺物包含層
- c 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
ややしまる 粘性あり 遺物包含層
- d 10YR6/6 明黄褐色土 よくしまる
粘性あり ソフトローム
- 1 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
しまりやや弱い 粘性なし 1~3層 SK20
- 2 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
しまりやや弱い 粘性なし
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
しまりやや弱い 粘性なし
- 4 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり 4~6層 SK21
- 5 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む
ややしまる 粘性あり
- 6 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
ややしまる 粘性あり
- 7 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり 7~12層 SK19
- 8 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5~20mm)多く含む
ややしまる 粘性あり
- 9 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり
- 10 10YR4/6 褐色土 ロームブロック(5mm)含む
ややしまる 粘性あり
- 11 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5~20mm)やや多く含む
しまりやや弱い 粘性なし
- 12 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5~10mm)多く含む
しまり弱い 粘性なし

第8図 SK15~17・19~21、Pit1・12・24遺構

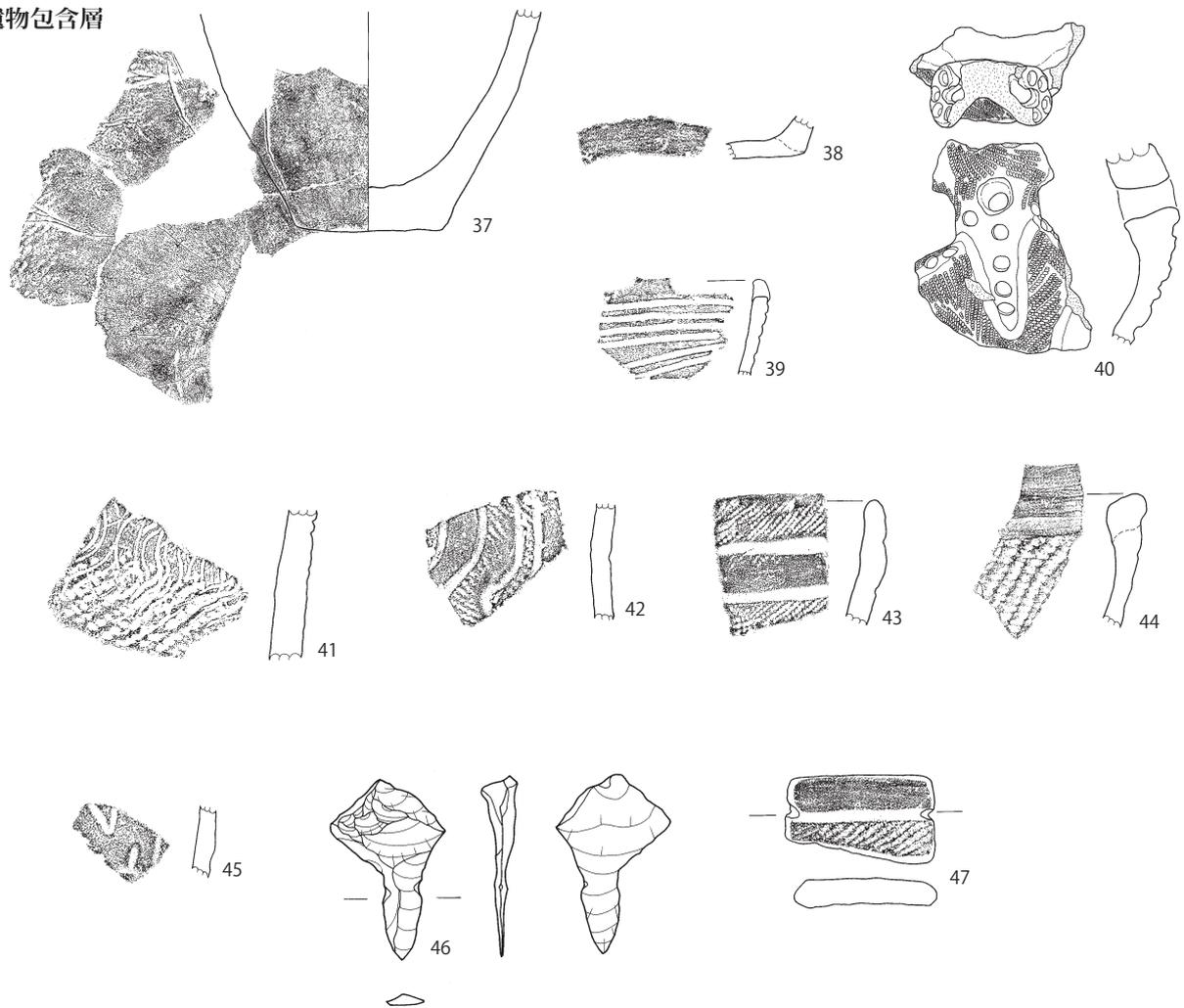


第9图 能满分区遗迹群(上小貝塚地区第6地点) 遺物実測図(1)

SK21

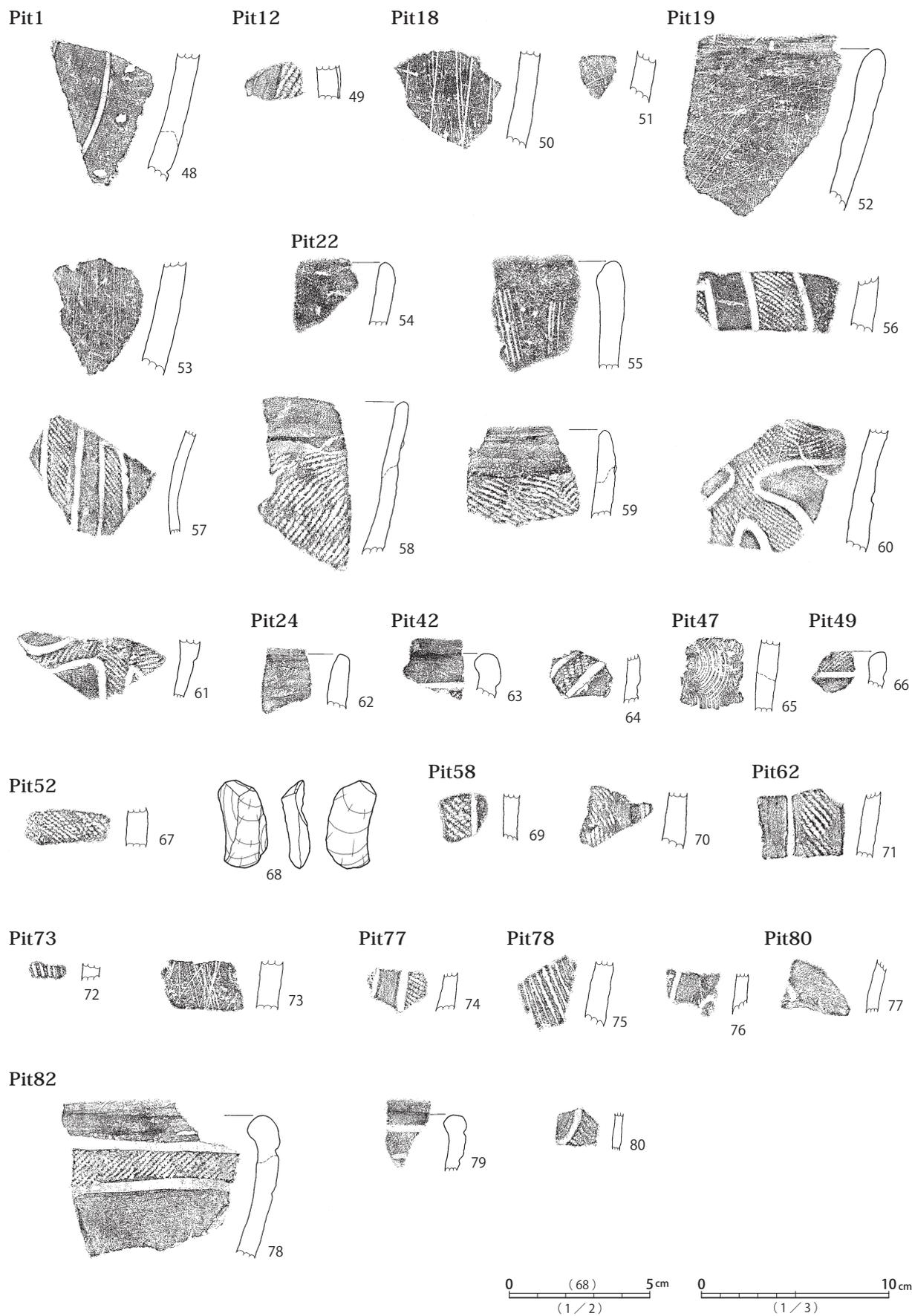


遺物包含層



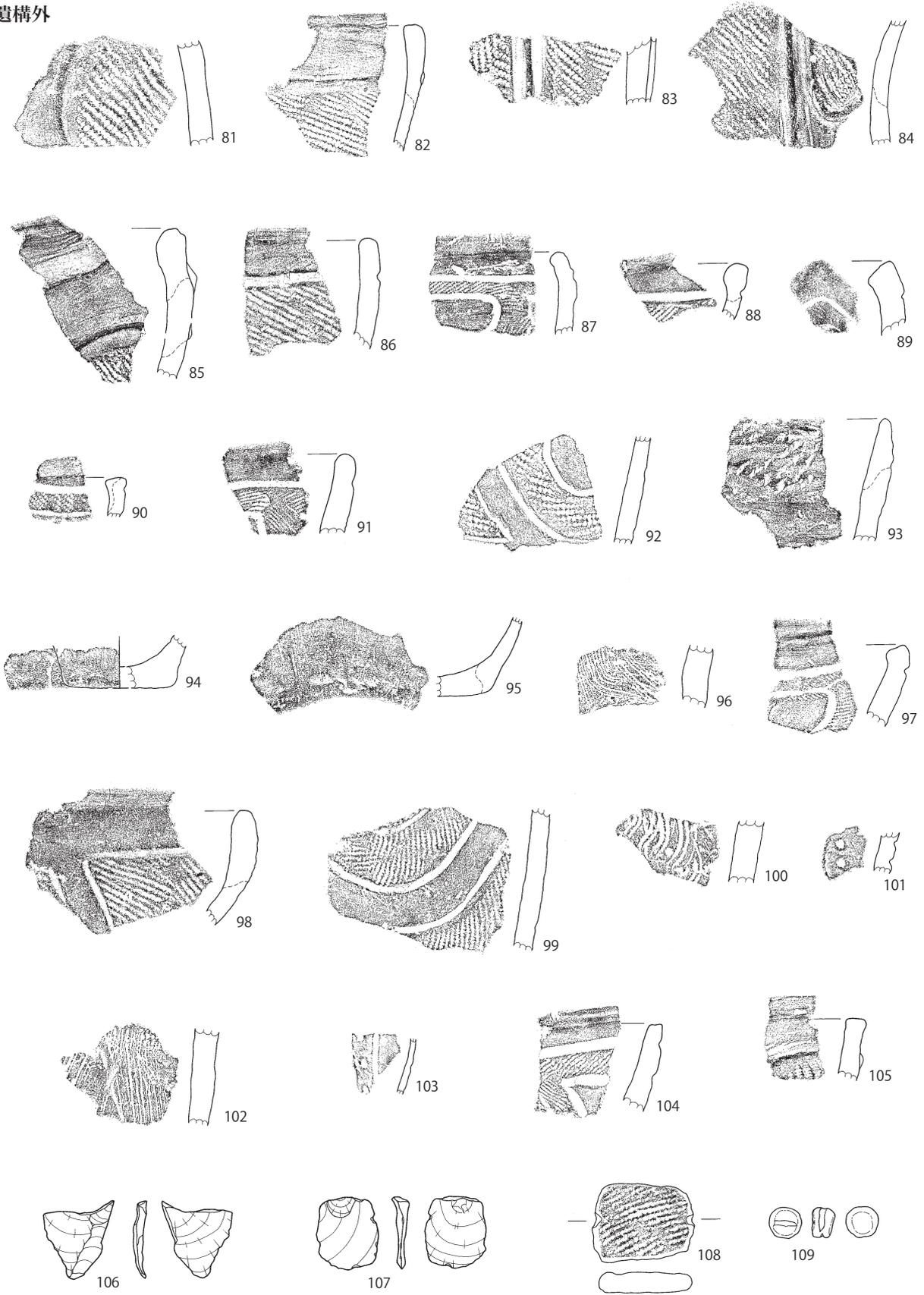
0 (46) 3cm (1/1) 0 (37) 10cm (1/4) 0 (1/3) 10cm

第10図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 遺物実測図(2)



第11图 能满分区遗迹群(上小貝塚地区第6地点) 遺物実測図(3)

遺構外



0 (94) 10cm (1/4) 0 (106・107) 5cm (1/2) 0 10cm (1/3)

第12図 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 遺物実測図(4)

4 まとめ

今回の発掘調査では、縄文土器が3,686点(総重量24,652.9g)出土した。内訳は、後期122点、加曽利B式?1点、堀之内式67点(1~2式63点、1式4点)、称名寺式141点(I~II式28点、II式18点、I式95点)、中期~後期3,112点、中期12点、加曽利EIV式7点、加曽利EIII~IV式31点、不明193点となる。出土土器の大半が後期の所産であり、その中でも称名寺式の割合が高いことが分かる。また、加曽利EIII式以前の土器と、加曽利B式以降の土器が全く出土していないことから、かなり限られた期間で遺跡が形成されたことがうかがえる。また、石器16点(黒曜石石核1点、黒曜石石錐?1点、黒曜石剥片8点、チャート剥片5点、無斑晶安山岩剥片1点)、土製品3点(土器片錘2点、不明土製品1点)が出土したが、土偶や石棒などの祭祀具の出土は確認できなかった。

遺構は、縄文時代土坑21基、縄文時代ピット82基を検出した。遺構の大半は、出土遺物から縄文時代後期前半(称名寺式~堀之内式)の時期に形成されたと思われる。調査区中央部にピット群が円形状に配列することから、これら遺構が住居址の柱穴である可能性も考えられる。しかし、住居の覆土や硬化面の存在を確認することが出来なかったため、住居址と断定することは控えた。当調査区では攪乱が著しかったため、住居址があったとしても、壁や覆土、床が削られてしまった恐れがある。

第6地点の調査では、過去の調査と同様に遺物包含層の存在が確認できた。面的に捉えられたのは、攪乱を免れた調査区南壁付近のみであった。しかし、調査区南部・中央部・北部の土層断面で存在が確認できたことから、調査区全域に遺物包含層が展開していたものと思われる。第6地点の遺物包含層で特筆すべき点は、出土土器が加曽利EIV~堀之内1式に集中していたことである。東隣に位置する上小貝塚地区第4地点でも、遺物包含層が確認されているが、縄文時代後期中葉の土器(加曽利B式)が出土しており、第6地点の遺物包含層よりも形成時期が新しい可能性がある。このことから、能満分区遺跡群では縄文時代中期後葉以降に遺物包含層が継続的に形成されながらも、地点ごとに形成のピークが異なっていると考えられる。

また、今回の調査範囲では貝層の堆積は皆無であった。近接する第2・第4地点を含めて貝塚がここまで及んでいなかったことが確認できた。

引用参考文献

- 忍澤成視 1989「能満分区遺跡群」『市原市文化財センター年報 平成元年度』財団法人市原市文化財センター
- 忍澤成視 1995『市原市能満上小貝塚』財団法人市原市文化財センター
- 近藤 敏 2014「能満分区遺跡群(貝殻塚地区)」『平成25年度市原市内遺跡発掘調査報告』
- 近藤 敏 2017「能満分区遺跡群(上小貝塚地区第4地点)」『平成28年度市原市内遺跡発掘調査報告』
- 中野喬介 2019「能満分区遺跡群(上小貝塚地区第5地点)」『平成30年度市原市内遺跡発掘調査報告』
- 半田堅三 1990「能満分区遺跡群」『市原市文化財センター年報 平成2年度』財団法人市原市文化財センター

荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡

1 調査に至る経緯

東京電力パワーグリッド株式会社は、工事に先行し令和3年4月1日付けで、文化財保護法第93条第1項の規定に基づく「埋蔵文化財発掘の届出について」を千葉県教育委員会教育長宛に提出した。

届出を受けて市原市教育委員会が試掘を実施し、遺構と遺物が確認された。その後、千葉県教育委員会の指示を受け、事業範囲のうち74.5㎡を対象に、市原市教育委員会が確認調査を行った。

確認調査の結果に基づいて、東京電力パワーグリッド株式会社と千葉県教育委員会及び市原市教育委員会によって協議が行われ、掘削が発生する745㎡を対象に本調査が実施された。

2 遺跡の位置

荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡は、市原市域北部を東行し東京湾へと流入する村田川の支流、神崎川の流域に存在する。遺跡は神崎川右岸の、北西方向に張り出した標高約44mの舌状台地上に立地する(第1図)。神崎川流域では弥生時代中期～古墳時代前期の集落・墓域が集中しており、本遺跡より下流側の台地上には、弥生時代中期～古墳時代前期の方形周溝墓群と集落から構成される潤ヶ広遺跡(鶴岡ほか2006)と、東側に隣接して弥生時代終末期～古墳時代前期の集落と墓域が確認された下鈴野遺跡(大村1987)が存在する。また、本遺跡の北東側には弥生時代終末期～古墳時代後期の竪穴建物跡が確認された祭り野遺跡(祭り野遺跡・山王後1号墳発掘調査団1982・齊木2019)が存在する。

また、右岸台地上には、弥生時代後期の竪穴建物跡が確認された東官台遺跡(高橋1994)が立地する。神崎川上流側では、左岸台地上に小田部新地遺跡が存在し、弥生時代中期の竪穴建物跡と中期～後期の方形周溝墓群が確認された(山口1984)。右岸台地上には、弥生時代後期～古墳時代前期の集落が確認された小田部向原遺跡(荻作遺跡群)と、弥生時代終末期～古墳出現期にかけての陸橋をもつ円形墳墓である小田部古墳が立地している(杉山ほか1972・大村1991)。

3 調査の成果

(1) 調査概要

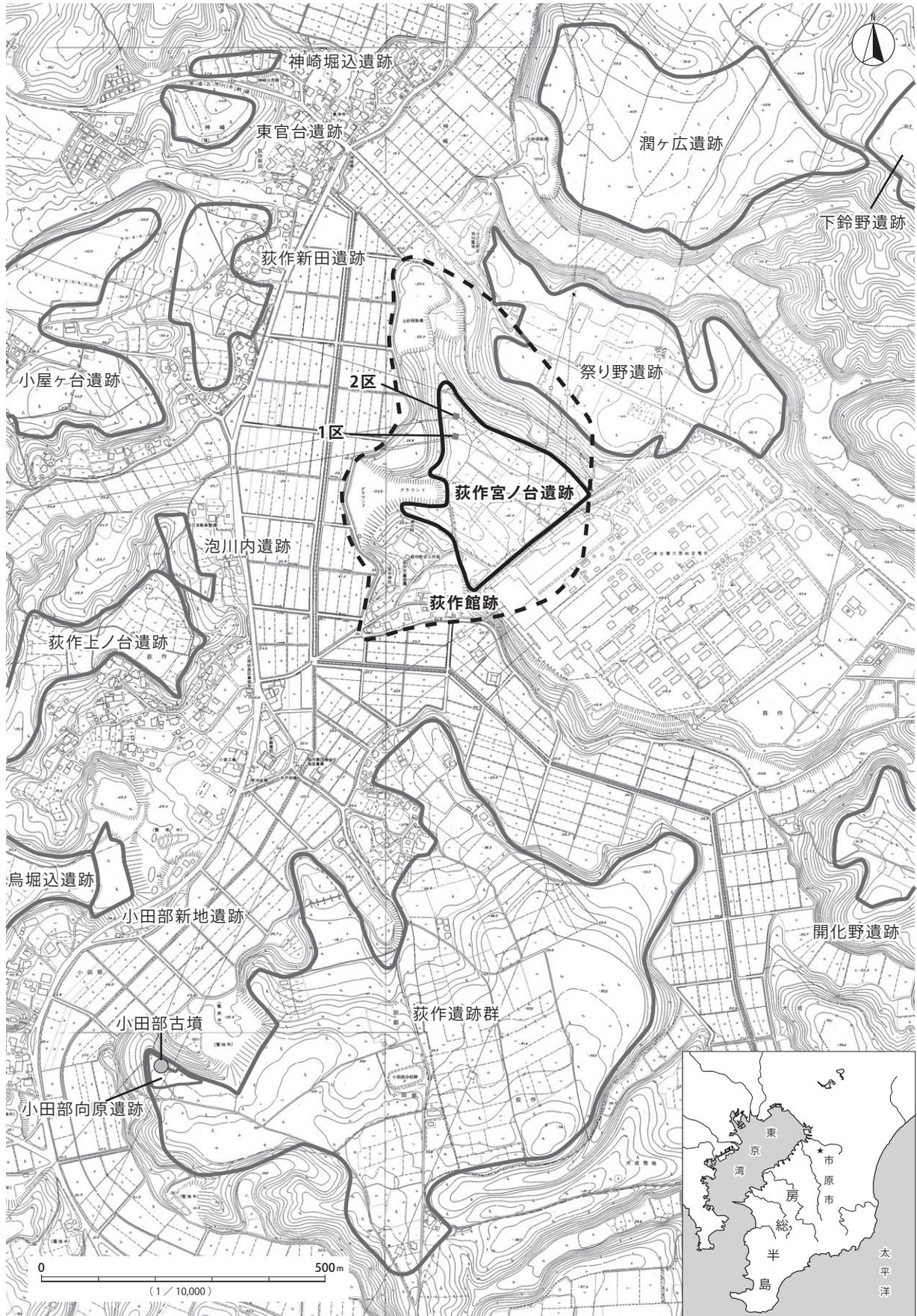
今回の調査では、世界測地系(測地成果2011)に基づいて測量基準点を打設した。表土は重機により除去し、遺構プランを確認した。遺構の保存状況は、篠竹の根攪乱を受けている他は比較的良好だった。今回の調査では、弥生時代中期～後期の方形周溝墓2基、弥生時代土坑5基、弥生時代ピット1基、古墳時代前期の竪穴建物跡1棟、古墳時代土坑1基、古墳時代溝1条、時期不明溝1条を検出した。(第14図、図版10)。

(2) 遺構と遺物

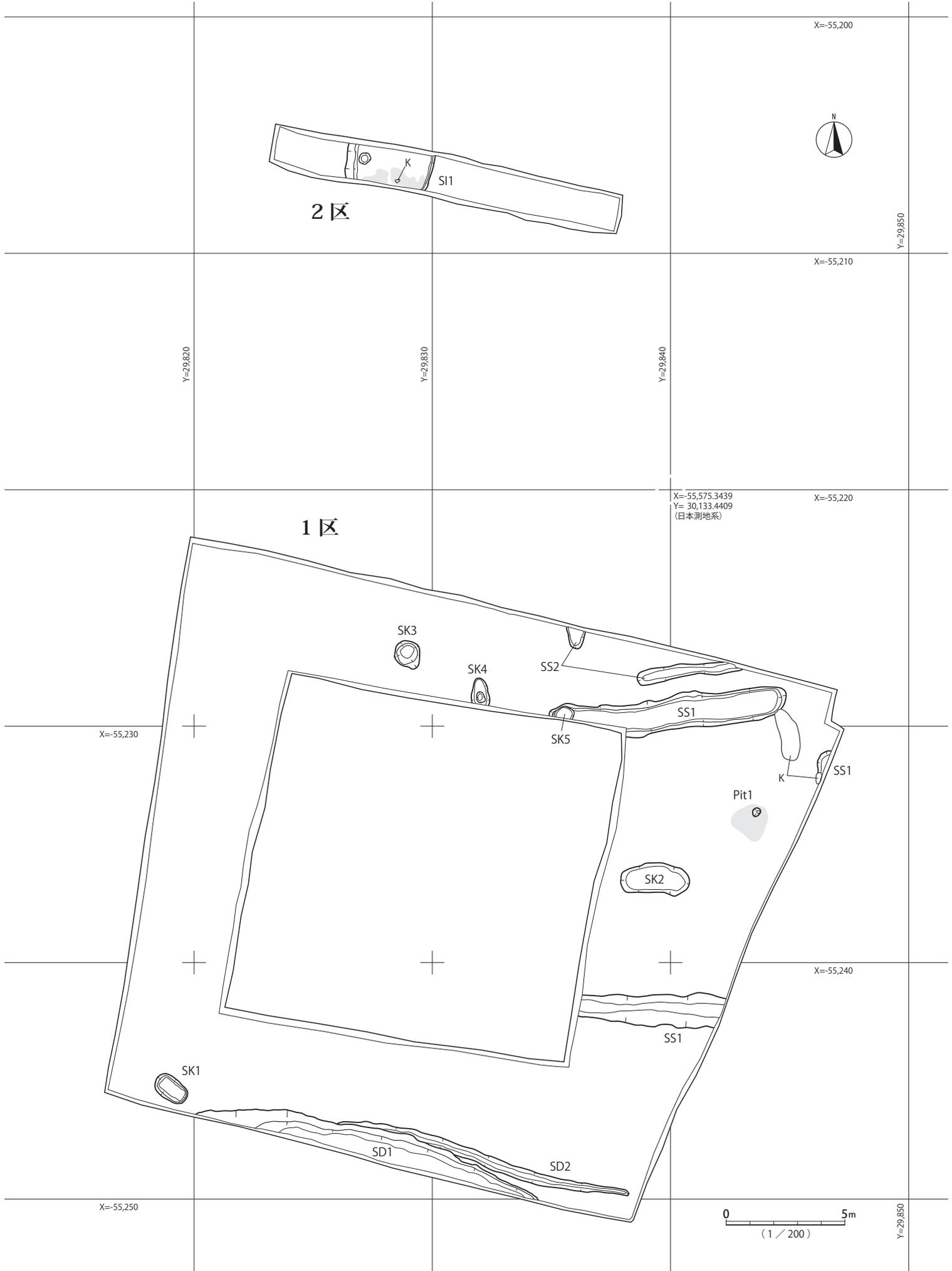
竪穴建物跡

SI1(第20・21図、図版14)

2区北側に位置する。規模は長軸3.60m、短軸(2.00)m、深さは0.56m、主軸方向はN-80°-Wである。調査区外に展開するが、調査区壁にピンポールを刺したところ、隅丸正方形であると確認



第13図 萩作宮ノ台遺跡・萩作館跡及び周辺遺跡位置図



第14図 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 調査区全体図

できた。ピットは1基のみ検出できた。ピットの規模は、長軸0.50m、短軸0.45m、深さは0.24mである。ピットに柱当たりは確認できなかった。また、地床炉・周溝は確認できなかったが、調査区外に所在する可能性がある。貼床層は、5～6cm程度認められたが、分布はまばらであり、特にSI1の壁際は堆積が薄い傾向にあった。

南部壁付近からは、焼土塊(c・c'層)が検出されており、出土遺物の大半はc層から出土している。焼土塊は、5mm程度の焼土ブロックと、5～60mm程度の炭化木材(21.1g)を含んでいる。焼土塊はd・e層の後に堆積していることから、SI1が埋没しかけた段階で形成されたことが分かる。焼土・炭化木材が、SI1の構築材が被熱したものかは定かではない。しかし、SI1が廃絶されたのちに、火の使用を伴った人為的な土器散布が行われたことは確かである。

遺物は、縄文土器2点、弥生土器3点、古式土師器14点出土。内訳は、縄文時代早期後葉土器2点、弥生後期～終末期土器(器種不明)1点、中台式(器種不明)1点、中台式広口壺1点、中台～草刈式壺? 8点、中台～草刈式甕? 1点、草刈1式小型丸底系鉢2点、草刈1式小型鉢1点、草刈式小型炉器台? 1点、草刈式小型器台1点である。

報告ではこれらのうち、縄文土器2点、弥生土器2点、古式土師器13点を図示した。出土遺物8は中台式(器種不明)である。底部に木葉痕と植物圧痕(糞?)が認められる。17・18は草刈1式の小型丸底系鉢である。17は内外面に被熱痕跡が認められ、焼土塊(c層)の形成時に熱を受けたものと思われる。19は草刈1式のミニチュア土器(小型鉢)である。口縁部付近に輪積痕跡を顕著に残す。また、外面に被熱痕跡が認められる。20は草刈式の小型器台である。ヘラミガキにより器面調整を行う。21は中台～草刈式のミニチュア土器(炉器台?)である。器面調整が粗く、輪積痕跡を顕著に残す。

床面直上の遺物はなかったが、遺構の時期は、焼土塊(c層)出土遺物から古墳時代前期前葉と思われる。

方形周溝墓

SS1(第15～17・21図、図版11・12・14)

SS2に隣接する。根攪乱の影響を受けており、面的に盛土を捉えることはできなかった。北側・南側周溝の長軸を基準とすれば、主軸方向はN-88°-Eとなる。北側周溝の規模は9.84m×1.48mで、深さは0.72mである。北側周溝はSK5の上端を切って作られている。南側周溝の横幅は1.40mであり、深さは0.68mである。東側周溝は、大半が調査区の外側に展開しているため、詳細は不明である。北側周溝の西端は、調査区外に展開しているが、ピンポールで壁を刺したところ、南側には溝が屈折しないことが確認できた。北側周溝は、地山底部の西側が一段下がっている。また、南側周溝は、地山底部の中央が一段下がっている。北側・南側周溝ともに周溝内埋葬は確認できなかったため、これらの窪みは溝の掘削時に生じたものと思われる。

主体部の存在が想定される位置にSK2が位置するが、根攪乱によりそのほとんどが壊されていたため、主体部とは断定できなかった。

調査区壁の土層断面では、盛土の残存部を検出することが出来た。北側周溝の4層と1区基本土層(東面)の3層がそれに当たり、北側周溝のa層は崩れた盛土の流入により堆積したものと思われる。

遺物は縄文時代早期後葉の土器が7点出土(うち3点を図化)。時期決定が可能な遺物は出土しなかったが、周溝の四隅が切れた形態であることから弥生時代中期後葉～後期後半の所産と思われる。

SS2(第18図、図版12)

SS1に隣接する。遺構の大半が調査区外に展開しているため詳細は不明であるが、SS1とほぼ並行して展開していると思われる。南側周溝の長軸を基準とすれば、主軸方向はN-83°-Eとなる。遺構がかかる1区基本土層(北面)では、根攪乱の影響を受けており、盛土の検出はできなかった。遺物の出土はなかったが、周溝の四隅が切れた形態であることから弥生時代中期後葉～後期後半の所産と思われる。

溝

SD1(第19図、図版13)

1区南側に位置する。規模は長軸(14.84)m、短軸(1.28)m、深さは0.48m、主軸方向はN-74°-Wである。SD2を切る。調査区外南部の篠竹林が、円形に約20m盛り上がり、それにSD1が沿うように展開しているため、円墳の周溝の可能性はある。遺物の出土はないため、詳細な時期は不明である。

SD2(第19図、図版13)

1区南側に位置する。規模は長軸(12.56)m、短軸(0.48)m、深さは0.2m、主軸方向はN-75°-Wである。SD1に切られる。遺物の出土はないため、詳細な時期は不明である。

土坑

SK1(第18図、図版13)

1区南西側に位置し、形状は長円形である。規模は長軸1.28m、短軸0.92m、深さは0.72m、主軸方向はN-53°-Wである。覆土中に直径5mm程度の炭化木片を含むが、木棺の痕跡は認められなかった。規模や形状から土坑墓である可能性もあるが、詳細は不明である。遺物は出土していないが、SD1に接して作られていることから古墳時代の所産と思われる。

SK2(第15・17図、図版13)

SS1内に位置する。規模は長軸2.8m、短軸1.28m、深さは0.16m、主軸方向はN-85°-Wである。遺構を検出したのち、SS1の主体部を想定して掘削したが、非常に浅く遺物の出土も認められなかった。検出面のレベルは、北側周溝の5～6層に該当する。既に根攪乱により遺構のほとんどが壊されていたため、SS1の盛土との関係を把握することはできなかった。主体部の下端のみが残存していたという解釈もできるが、SS1との関係が不明瞭であるため主体部と断定することは控えたい。

SK3(第18図)

1区北側に位置し、形状は円形である。規模は長軸1.24m、短軸1.08m、深さは0.56mである。遺

物の出土はないが、SS1・SS2に近接して作られていることから弥生時代の所産と思われる。

SK4(第18図、図版13)

1区北側に位置し、形状は長円形である。規模は長軸1.4?m、短軸0.76m、深さは0.77m、主軸方向はN-2°-Wである。遺構が調査区外に出るが、ピンポールで壁を刺したところ壁奥0.3mのところまで立ち上がっていることが確認できた。中央部がピット状に窪むが柱穴痕は認められなかった。遺物の出土はないが、SS1・SS2に近接して作られていることから弥生時代の所産と思われる。

SK5(第15・16図、図版12)

SS1に切られる。規模は長軸0.8m、短軸0.72m、深さは0.68mである。遺物の出土はないが、周辺に弥生時代の遺構が集中していることから、弥生時代の所産と思われる。

ピット

Pit1(第15・17図、図版13)

SS1内に位置する。規模は長軸0.4m、短軸0.32m、深さは1.04mである。周辺には焼土混じりの土が堆積しており、ピットはその上から掘り込まれている。根攪乱が著しく、既に上端が攪拌されていたため、ピット・焼土とSS1の盛土との関係を把握することはできなかった。遺物の出土はないが、周辺に弥生時代の遺構が集中していることから、弥生時代の所産と思われる。

遺構外(第21図)

1・2区ともに遺物出土は希薄であった。1区は、縄文時代早期後葉土器1点、弥生後期～終末期甕1点が出土した。2区は、縄文時代早期後葉?土器1点、中台～草刈式壺?2点、中台～草刈式(器種不明)1点、黒曜石剥片1点が出土した。

4 まとめ

今回の調査では、弥生時代中期後葉～後期後半の方形周溝墓2基、弥生時代土坑5基、弥生時代ピット1基、古墳時代前期前葉の竪穴建物跡1棟、古墳時代土坑1基、古墳時代溝1条、時期不明溝1条を検出した。

本調査区は台地の縁辺部に位置し、1区の西側には遺構が展開していないことから、弥生時代中期後葉～後期後半の方形周溝墓群の分布限界を確認することができた。一方で、方形周溝墓は調査区外の北東へ続いており、墓域全体の規模は不明瞭である。また、2区で草刈式期の竪穴建物跡を1棟検出したが、集落址の一部なのか単独で所在する性格の遺構なのかは判断できなかった。近接する祭り野遺跡でも同時期の遺構が確認されているが、同一集団のものかは不明である。荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡ともに調査データがなく、遺跡の性格はいまだ未解明であるが、本調査でその足掛かりが掴めたことは重要な成果と言えるだろう。

引用参考文献

大村 直 1987『下鈴野遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 1991『市原市姉崎宮山遺跡・小田部向原遺跡・雲ノ境遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 2004「山田橋遺跡群および市原台地周辺地域の後期弥生土器」『市原市山田橋大山台遺跡』財団法人市原市文化財センター

大村 直 2009「南中台遺跡と周辺遺跡の土器編年」『市原市南中台遺跡・荒久遺跡A地点』市原市教育委員会

齊木 誠 2019『市原市祭り野遺跡(第3地点)』株式会社WIND-SMILE・市原市教育委員会

杉山晋作ほか 1972『小田部古墳の調査』古墳時代研究会

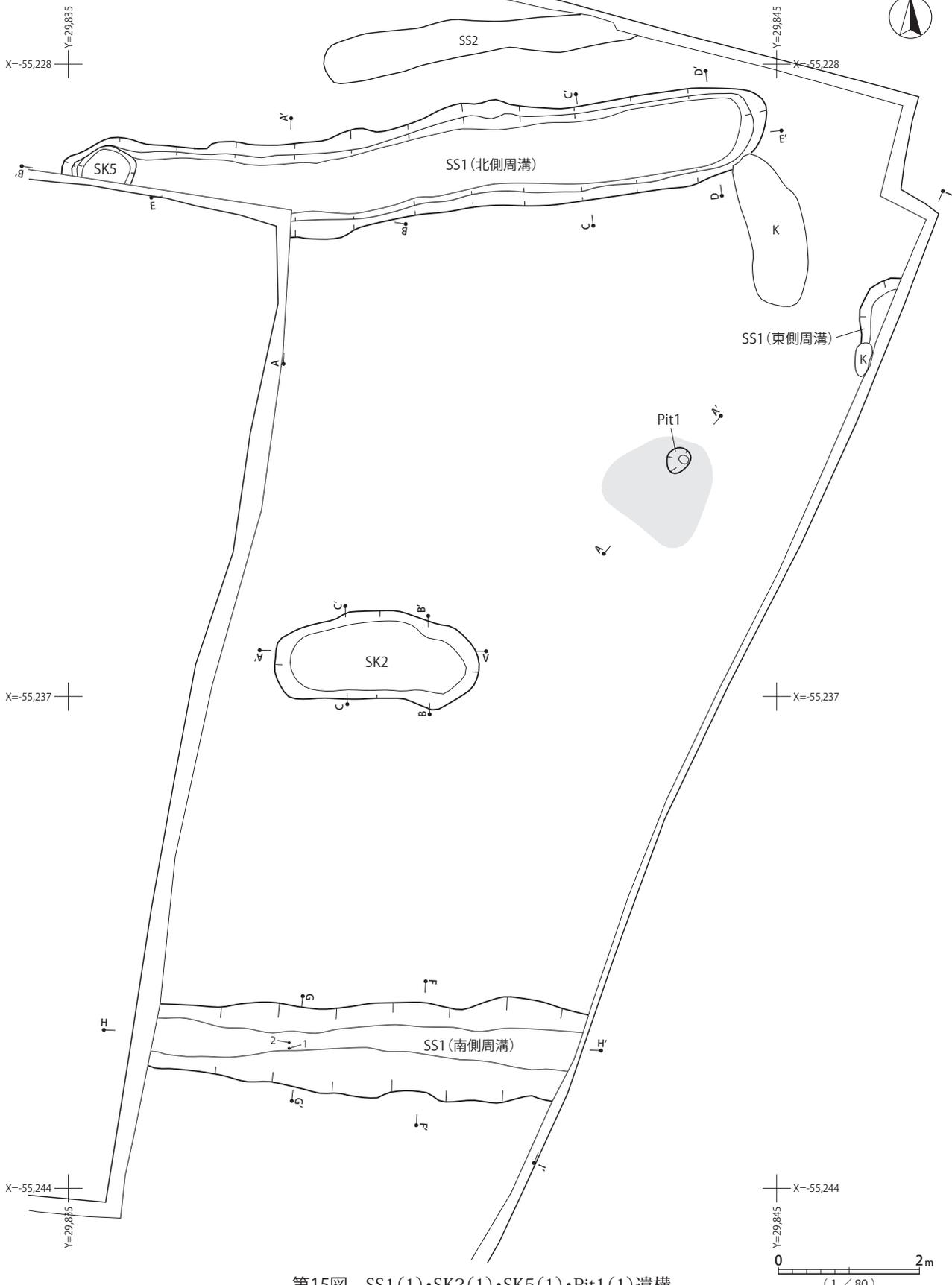
高橋康男 1994「東官台遺跡」『平成5年度市原市内遺跡発掘調査報告』財団法人市原市文化財センター

鶴岡 健ほか 2006『市原市中潤ヶ広遺跡(上層)』財団法人千葉県教育振興財団

祭り野遺跡・山王後1号墳発掘調査団 1982『千葉県市原市潤井戸地区 祭り野遺跡・山王後1号墳』

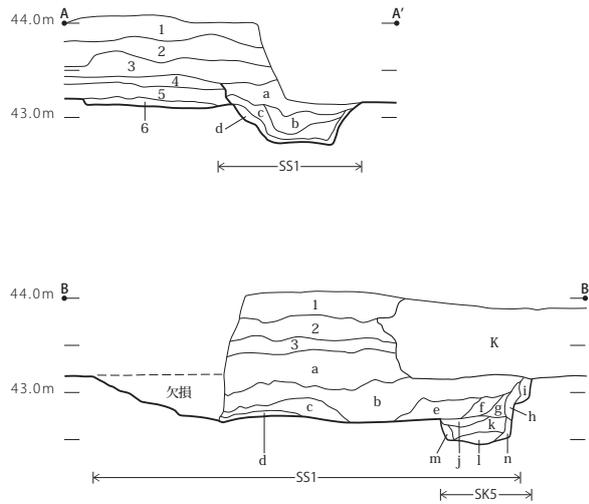
山口直樹 1984『千葉県市原市 小田部新地遺跡』財団法人市原市文化財センター

SS1・SK2・5・Pit1



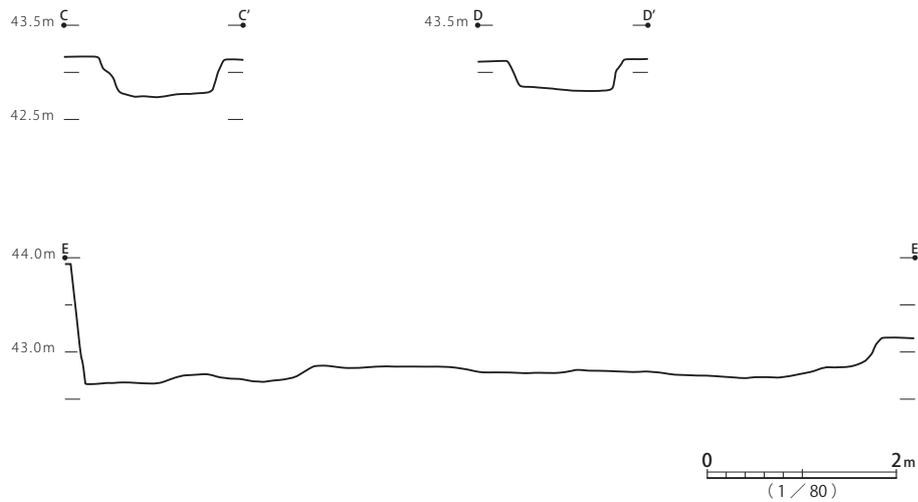
第15図 SS1(1)・SK2(1)・SK5(1)・Pit1(1)遺構

SS1(北側周溝)・SK5



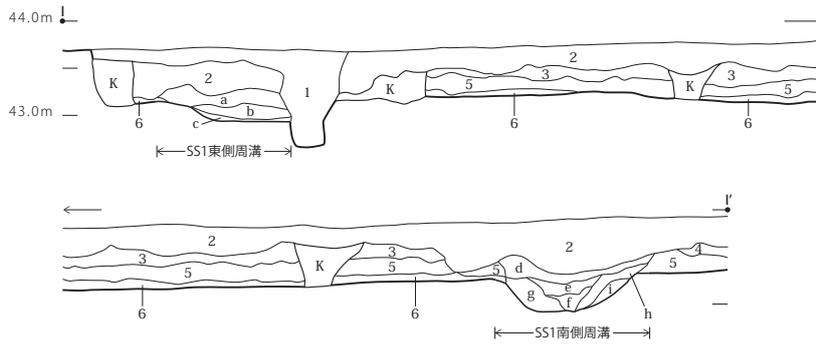
SS1(北側周溝)・SK5 A-A', B-B'

- 1 10YR7/6 明黄褐色ローム しまり弱い 粘性なし 現地表土、篠竹の根攪乱が顕著
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む 一部根の作用により黒褐に変色する ややしまる 粘性なし 篠竹の根攪乱が顕著
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし 篠竹の根攪乱が顕著
- 4 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ロームブロック(8mm)多く含む ややしまる 粘性あり SS1 盛土残存部
- 5 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒子(5mm以下)多く含む ややしまる 粘性あり
- 6 10YR6/6 明黄褐色ローム ややしまる 粘性あり ソフトローム
- a 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり a~f層 SS1 周溝堆積土
- b 7.5YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- c 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり
- d 10YR5/6 黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり
- e 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり
- f 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- g 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5~10mm)多く含む ややしまる 粘性なし g~n層 SK5
- h 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5~20mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- i 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- j 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- k 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり
- l 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5~20mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- m 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり
- n 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり



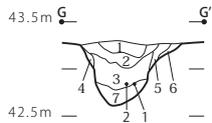
第16図 SS1(2)・SK5(2)遺構

1 区基本土層(東面)・SS1(東側周溝・南側周溝)

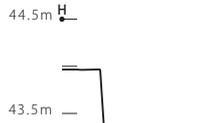
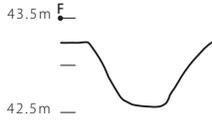


- 1 10YR7/6 明黄褐色 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし 現地表土、篠竹の根攪乱が顕著
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む一部根の作用により黒褐に変色する ややしまる 粘性なし 篠竹の根攪乱が顕著
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ロームブロック(8mm)多く含む ややしまる 粘性あり SS1 盛土残存部
- 4 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 5 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm以下)多く含む ややしまる 粘性あり
- 6 10YR6/6 明黄褐色ローム ややしまる 粘性あり ソフトローム
- a 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む a~i層 SS1 周溝堆積土
- b 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む
- c 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む
- d 7.5YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む しまり弱い 粘性なし
- e 7.5YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性なし
- f 7.5YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし
- g 7.5YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- h 7.5YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- i 7.5YR6/8 橙色土 ロームブロック(10~30mm)多く含む しまり弱い 粘性なし

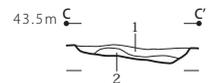
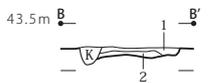
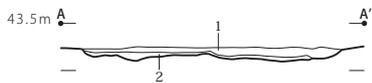
SS1(南側周溝)



- 1 7.5YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む しまり弱い 粘性なし
- 2 7.5YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性なし
- 3 7.5YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- 4 7.5YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 5 2.5YR4/4 にぶい赤褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 6 7.5YR5/6 明褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 7 7.5YR6/8 橙色土 ロームブロック(10~30mm)多く含む しまり弱い 粘性なし



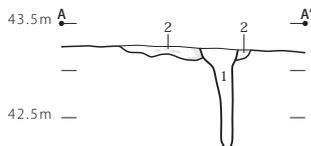
SK2



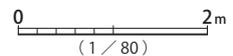
A-A'・B-B'・C-C'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- 2 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし

Pit1

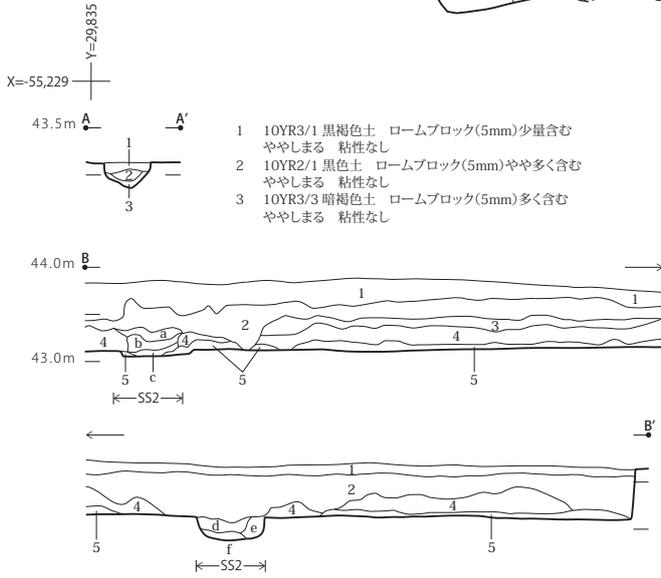
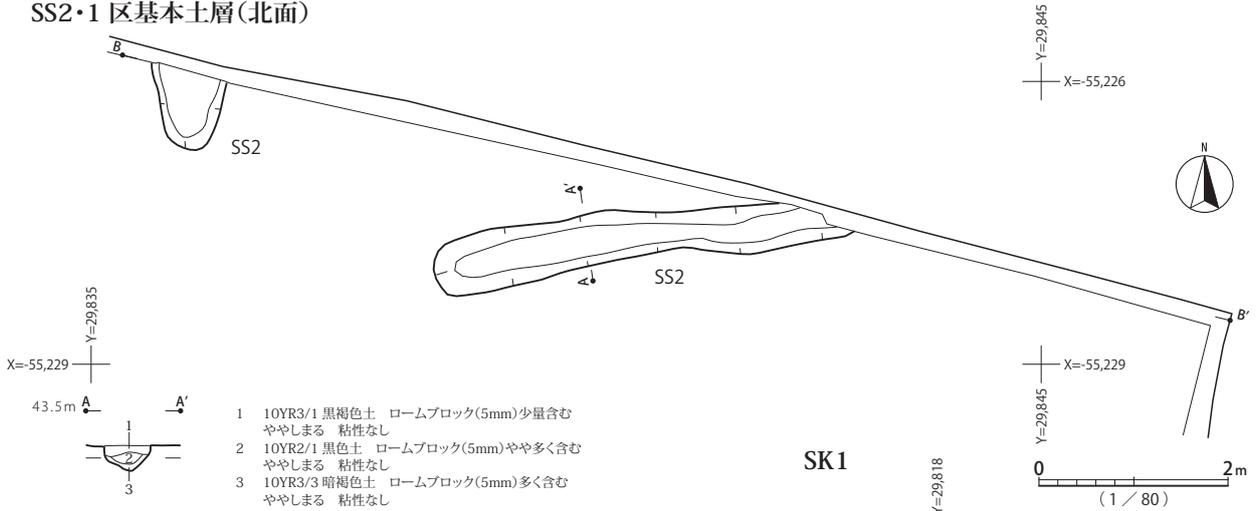


- 1 10YR3/2 黒褐色土 焼土粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり Pit1
- 2 10YR3/3 暗褐色土 焼土粒子(5mm以下)多く含む 炭化物粒子(5mm以下)含む ややしまる 粘性あり 焼土範囲



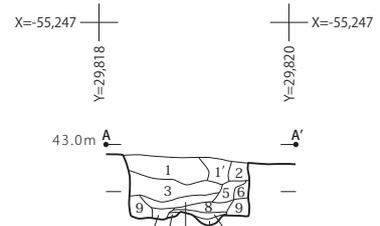
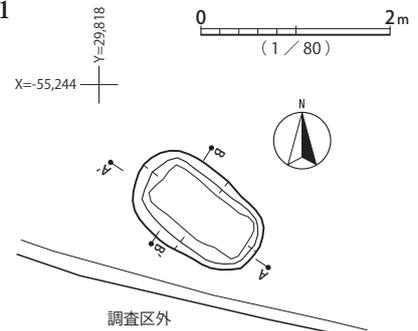
第17図 SS1(3)・SK2(2)・Pit1(2)遺構

SS2・1 区基本土層(北面)



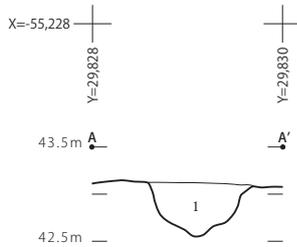
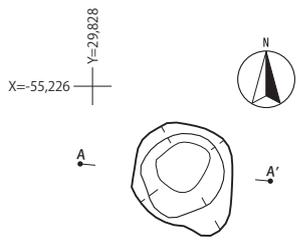
- 1 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし
- 2 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし

SK1

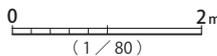


- 1 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性あり
- 1' 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む 炭化木片(5mm)含む ややしまる 粘性あり
- 2 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(10mm)多く含む 炭化木片(5mm)含む ややしまる 粘性なし
- 3 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや含む 炭化木片(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり
- 4 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む 炭化木片(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり
- 5 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む 炭化木片(5mm)多く含む ややしまる 粘性あり
- 6 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(10mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 7 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
- 8 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む 炭化木片(5mm)少量含む しまり弱い 粘性なし
- 9 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(10mm)多く含む 炭化木片(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
- 10 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む 炭化木片(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし
- 11 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む 炭化木片(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし

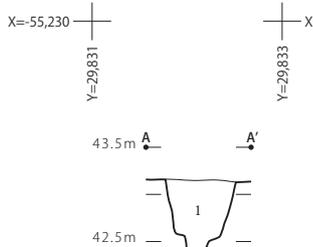
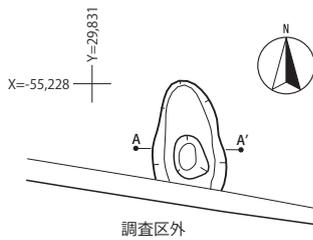
SK3



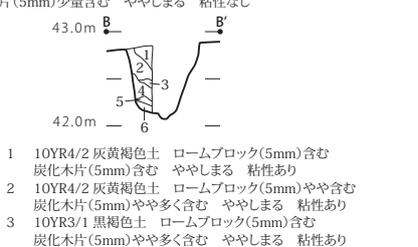
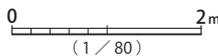
- 1 7.5YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5~8mm)含む ややしまる 粘性なし



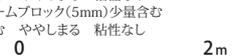
SK4



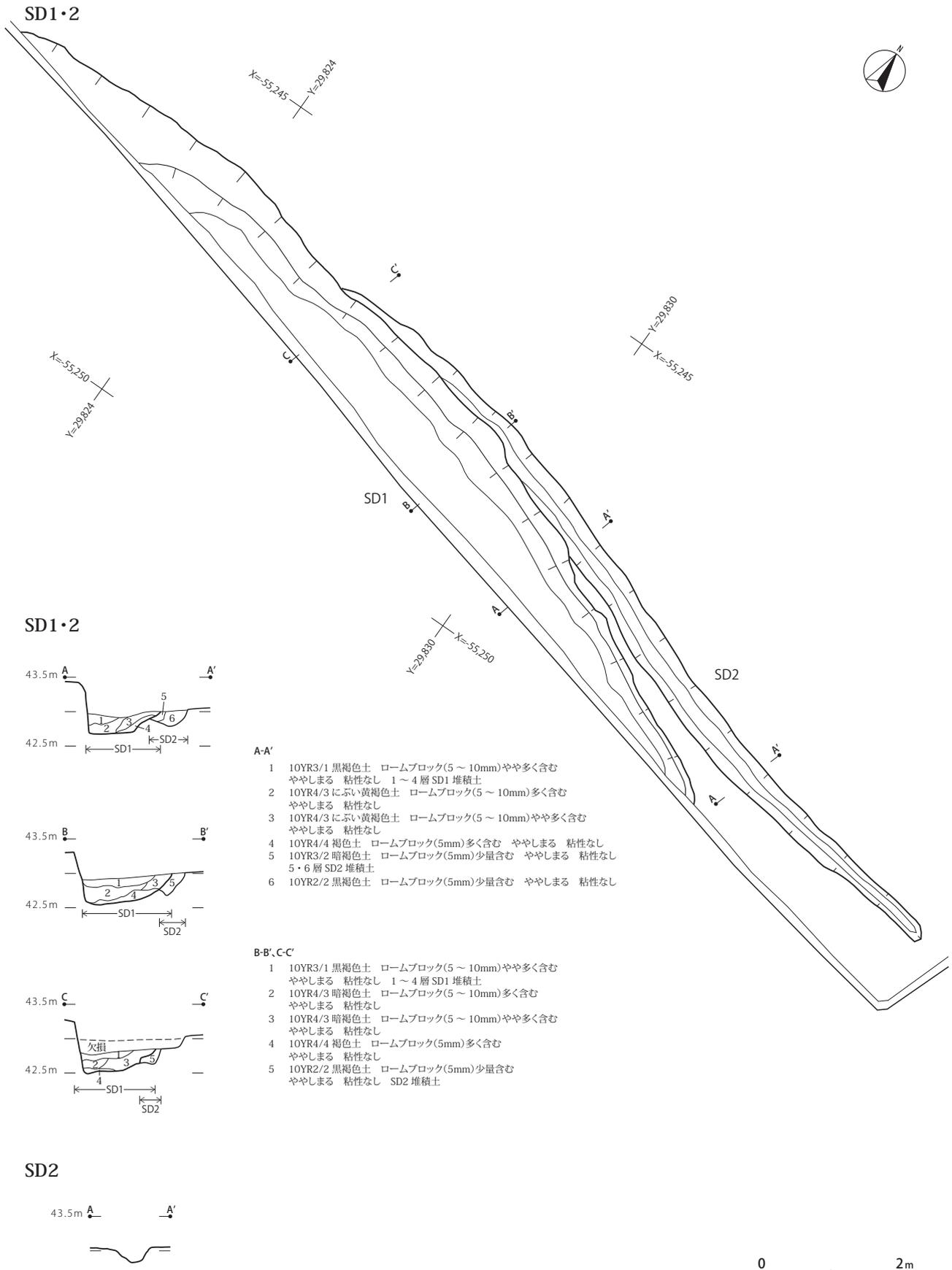
- 1 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしまる 粘性あり



- 1 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)含む 炭化木片(5mm)含む ややしまる 粘性あり
- 2 10YR4/2 灰黄褐色土 ロームブロック(5mm)やや含む 炭化木片(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり
- 3 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)含む 炭化木片(5mm)やや多く含む ややしまる 粘性あり
- 4 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む 炭化木片(5mm)少量含む しまり弱い 粘性なし
- 5 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む 炭化木片(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし
- 6 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む 炭化木片(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし



第18図 SS2、SK1・3・4遺構

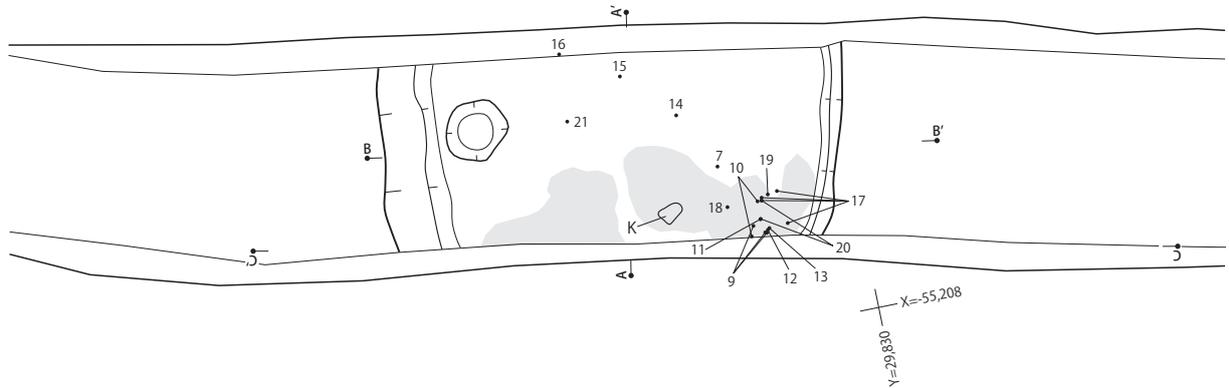


- A-A'**
- 1 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5~10mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし 1~4層 SD1 堆積土
 - 2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5~10mm)多く含む ややしまる 粘性なし
 - 3 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5~10mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
 - 4 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
 - 5 10YR3/2 暗褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし 5・6層 SD2 堆積土
 - 6 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし
- B-B', C-C'**
- 1 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5~10mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし 1~4層 SD1 堆積土
 - 2 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5~10mm)多く含む ややしまる 粘性なし
 - 3 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5~10mm)やや多く含む ややしまる 粘性なし
 - 4 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしまる 粘性なし
 - 5 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)少量含む ややしまる 粘性なし SD2 堆積土

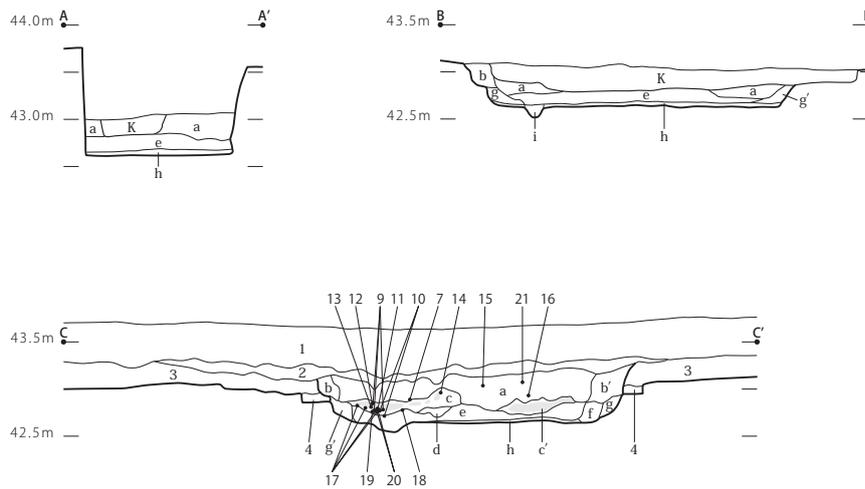
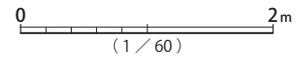
第19図 SD1・2遺構

SI1

X=55,204

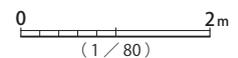


X=55,208
Y=29,824



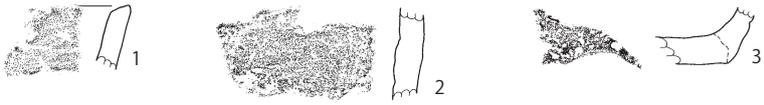
A-A', B-B', C-C'

- 1 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし 現地表土、篠竹の根攪乱が顕著
- 2 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む しまり弱い 粘性なし 篠竹の根攪乱が顕著
- 3 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしめる 粘性あり
- 4 10YR6/6 明黄褐色ローム ややしめる 粘性あり ソフトローム
- a 10YR3/2 黒褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしめる 粘性あり a~f層 SI1 覆土
- b 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む 焼土ブロック(5mm)含む ややしめる 粘性あり
- c 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む 焼土ブロック(5mm)含む ややしめる 粘性あり
- 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む 炭化物粒子(5mm以下)多く含む 焼土ブロック(5mm)含む ややしめる 粘性あり
- c' 10YR4/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む 炭化物粒子(5mm以下)多く含む 焼土ブロック(5mm)多く含む ややしめる 粘性あり
- d 7.5YR3/2 暗褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む 炭化物・焼土粒子(5mm以下)多く含む ややしめる 粘性あり
- e 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(8mm)多く含む 焼土粒子(5mm以下)多く含む ややしめる 粘性あり
- f 7.5YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(5mm)やや多く含む ややしめる 粘性あり
- g 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(8mm)多く含む ややしめる 粘性あり g・g'層壁堆積土
- g' 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(8mm)多く含む ややしめる 粘性あり
- h 10YR5/6 黄褐色土 ロームブロック(5mm)多く含む ややしめる 粘性あり SI1 貼床土
- i 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(5mm)含む ややしめる 粘性なし SI1・Pit1

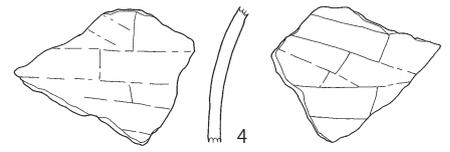


第20図 SI1遺構

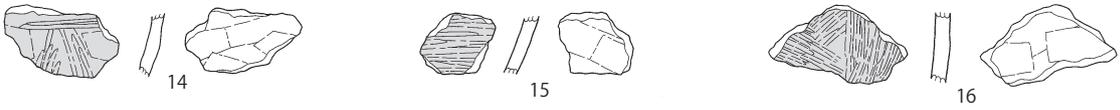
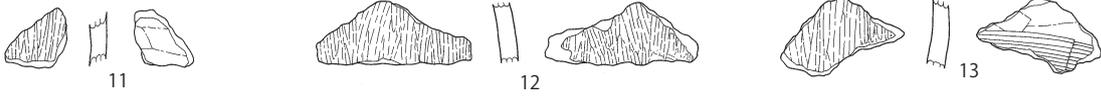
SS1



1区



SI1



2区



0 (17・19) 10cm
(1/4)

0 10cm
(1/3)

第21図 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 遺物実測図

第2表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 出土土器観察表

遺物 番号	回数 番号	遺構 番号	注記	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)	焼成	胎土	色調	外面	内面	精微	備考	
№	№	№						口径 器高 底径	その他		外面	内面	外面	内面		
1	9	7	SK2	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	良好	10YR3/2 黒褐色	10YR4/4 褐色	ミガキ 準沈線	平滑ナテ	称名寺~堀之内式	
2	9	7	SK2	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	やや甘い	10YR5/6 黄褐色	10YR5/6 黄褐色	平滑ナテ 縦位の教条の糸線を施文	平滑横ナテ	堀之内式	
3	9	7	SK2	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	やや甘い	10YR4/4 褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	平滑ナテ 縦位の教条の糸線を施文 口縁部下に横位の沈線を施文	平滑横ナテ	称名寺~堀之内式	
4	9	7	SK4	縄文土器	深鉢	胴部~脚部	小片	-	-	良好	10YR5/6 黄褐色	10YR5/6 黄褐色	横ミガキ 半透明粒子・黒色粒子・骨針・石英・長石	平滑横ナテ	称名寺1式	
5	9	7	SK4	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	やや甘い	10YR5/6 黄褐色	10YR5/8 黄褐色	平滑ナテ 縦位の教条の下に準筋織文(LR)を施文	平滑横ナテ	称名寺式?	
6	9	7	SK4	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	良好	10YR6/6 明黄褐色	10YR5/6 黄褐色	口唇~口縁部横ミガキ 沈線区画内に凹削工による刻切を充填	横ミガキ	称名寺II式	
8	9	7	SK5	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	良好	5YR5/6 黄褐色	5YR5/6 黄褐色	横ミガキ 隆起線による区画内に凹削工(準筋織文(LR))を施文	横ミガキ	加瀬利E III~E IV式	
9	9	7	SK6	縄文土器	深鉢?	胴部?	小片	-	-	良好	10YR3/2 黒褐色	10YR2/2 黒褐色	ミガキ 縦位の糸線を縦方向に施文	平滑ナテ	堀之内式?	
10	9	7	SK6	縄文土器	深鉢	脚部	小片	-	-	良好	10YR6/6 明黄褐色	10YR6/6 明黄褐色	横ミガキ 沈線区画内を準筋織文(LR)で充填	平滑ナテ	称名寺1式	
11	9	7	SK7	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	堅緻	10YR5/4 にぶい黄褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	横ミガキ 横位隆起線下に準筋織文(LR)を施文	横ミガキ	称名寺式	
12	9	7	SK7	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	10YR4/3 にぶい黄褐色	10YR4/3 にぶい黄褐色	横ミガキ 沈線区画内に準筋織文(LR)を施文	横ミガキ	称名寺1式	
13	9	7	SK7	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	7.5YR6/8 褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	ミガキ 沈線により機序劣文を描く全体の毛手一つは不明	平滑ナテ	称名寺II式?	
14	9	7	SK8	縄文土器	器種不明	口縁部	小片	-	-	良好	2.5YR4/6 赤褐色	2.5YR4/6 赤褐色	ミガキ 口唇部に凹削工による凹削工を加える	横ミガキ	称名寺~堀之内式	
15	9	7	SK9	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	良好	5YR6/8 褐色	5YR6/8 褐色	隆起線を貼りつけた後、2条の列点文を加える 隆起線下に準筋織文(LR)を施文	横ナテ	称名寺式	
16	9	7	SK9	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	5YR4/6 赤褐色	5YR3/3 暗赤褐色	横ミガキ 沈線区画内に準筋織文(LR)を施文	平滑ナテ	称名寺1式	
17	9	7	SK11	縄文土器	深鉢	口縁部~底部	50	12.5	16.4	6.3	良好	10YR4/4 褐色	10YR4/3 にぶい黄褐色	横ミガキ 隆起線を貼り付け、列点を施す 準筋織文(LR)と沈線区画を施文	平滑ナテ	称名寺1式
18	9	7	SK12	縄文土器	器種不明	胴部?	小片	-	-	良好	10YR3/3 暗褐色	10YR3/2 黒褐色	隆起線の区画内に凹削工(準筋織文)を施文	横ナテ	加瀬利E III~E IV式	
19	9	7	SK13	縄文土器	器種不明	口縁部	小片	-	-	やや甘い	7.5YR5/4 にぶい褐色	5YR5/8 明赤褐色	横ミガキ 隆起線を2条貼り付ける	横ミガキ	称名寺~堀之内式	
20	9	7	SK13	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	5YR2/1 黒褐色	5YR4/3 にぶい赤褐色	横ミガキ 沈線により区画した内を準筋織文(LR)で充填	横ナテ 横ナテ 一部横ミガキ	称名寺1式	
21	9	7	SK13	縄文土器	深鉢	胴部?	小片	-	-	良好	10YR7/6 明黄褐色	10YR7/6 明黄褐色	平滑ナテ 沈線区画内を準筋織文(LR)で充填	ナテ	称名寺1式	
22	9	7	SK13	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	10YR3/1 黒褐色	10YR4/6 赤褐色	横位に糸線を施文	ミガキ	堀之内式?	
23	9	7	SK14	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	7.5YR5/6 明褐色	7.5YR5/6 明褐色	教条の糸線を施文	平滑ナテ	堀之内式	
24	9	7	SK14	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	7.5YR3/1 黒褐色	7.5YR5/8 明褐色	横ミガキ 沈線	ケズリ 一部横ミガキ	称名寺式	
25	9	7	SK15	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	堅緻	10YR4/3 にぶい黄褐色	5YR4/6 赤褐色	横ミガキ 縦位の沈線	工具ケズリ 横ミガキ	称名寺~堀之内式	
26	9	7	SK16	縄文土器	深鉢?	口縁部	小片	-	-	良好	5YR5/8 明赤褐色	7.5YR6/8 褐色	口唇~口縁部横ミガキ 口縁部下横ナテ	横ミガキ	縄文時代後期	
27	9	7	SK17	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	良好	5YR5/8 明赤褐色	5YR5/8 明赤褐色	口唇~胴部にかけて準筋織文(LR)を施文	横ナテ	縄文時代後期	
28	9	7	SK17	縄文土器	器種不明	胴部	小片	-	-	良好	10YR6/6 明黄褐色	10YR5/6 黄褐色	糸線を縦方向に施文	ナテ	堀之内式	
29	9	7	SK19	縄文土器	深鉢	口縁部~胴部	30	(25.4)	-	最大径 32.0	良好	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	平滑ナテ 凹削工による刺突	横ナテ 横ナテ	縄文時代後期前葉
30	9	7	SK19	縄文土器	深鉢	底部	小片	-	-	良好	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	横ナテ 縦位の沈線	平滑ナテ	縄文時代後期前葉?	
31	9	7	SK19	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	良好	10YR4/6 赤褐色	10YR5/4 にぶい黄褐色	糸線を縦方向に施文	ナテ	縄文時代後期前葉	
32	10	8	SK21	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	やや甘い	10YR6/8 明黄褐色	10YR4/3 にぶい黄褐色	平滑ナテ 隆起線に横位の隆起線を貼り付け、口縁部下に縦位の沈線を施文	平滑ナテ	堀之内1式	
33	10	8	SK21	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	やや甘い	10YR4/3 にぶい黄褐色	10YR5/6 黄褐色	平滑ナテ 縦位の教条の波状沈線を施文	平滑ナテ	堀之内1式	
34	10	8	SK21	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	やや甘い	7.5YR6/8 褐色	7.5YR6/8 褐色	ミガキ 縦位の教条が縦帯に認められ、非帯に彫く	平滑横ナテ	称名寺II式 35 7-同一個体	
35	10	8	SK21	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	やや甘い	7.5YR6/8 褐色	7.5YR6/8 褐色	ミガキ 縦位の教条が縦帯に認められ、非帯に彫く	平滑横ナテ	称名寺II式 34 7-同一個体	

第3表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 出土石製品観察表

遺物 押図 No.	遺物 No.	注記	種別	寸法 (cm)		重量 (g)	材質	特徴				
				長軸	短軸							
7	9	7 SK4	セ 592 SK012	1-一拵	石核	2.4	1.8	1.65	4.6	黒曜石	多方面からの割断面跡が認められる	
46	10	8	運物包舎籠	セ 592 イブツ包舎籠 20	石籠?	2.45	1.55	0.5	0.5	黒曜石	刃部の二次加工痕跡は顕著でない	
68	11	9	PH52	セ 592 P016	1-一拵	剥片	3.2	1.85	1.05	2.4	チャート	
106	12	9	運構外	セ 592 イセキ一拵	剥片	2.7	2.55	0.65	1.3	チャート	上面および右前面が欠損している	
107	12	9	運構外	セ 589 4トレ	1-一拵	剥片	2.65	2.1	0.6	2.6	無珪質安山岩	

第4表 能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点) 出土土製品観察表

遺物 押図 No.	遺物 No.	注記	種別	部位	寸法 (cm)		重量 (g)	焼成	胎土			色調			特徴	備考			
					長さ	幅			厚さ	胎土	底径	その他	外面	内面			外面	内面	外面
47	10	8	運物包舎籠	セ 592 イブツ包舎籠	16	土器片種	丸形	良好	6.0	3.8	1.2	33.3	良好	白色粒子・透明粒子・雲母・骨針・石英・長石	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	5YR5/6 明赤褐色	平滑ナデ	称古寺1式の深鉢口縁部の横位沈線を種のスリットに転用している
108	12	9	運構外	セ 589 2トレ	1-一拵	土器片種	丸形	良好	5.4	4.2	1.1	30.7	良好	白色粒子・骨針・石英・長石	5YR5/6 明赤褐色	7.5YR5/4 にぶい赤褐色	表面に土器の沈線の一部残存	平滑ナデ	時期不明
109	12	9	運構外	セ 592 イセキ一拵	不明土製品	不明土製品	丸形	良好	1.8	1.8	1.0	3.3	良好	白色粒子・透明粒子・石英・長石	10YR4/3 にぶい黄褐色	10YR4/3 にぶい黄褐色	上面に土器の沈線の一部残存	明	時期不明 土器破片の転用か?

第5表 荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡 出土土器観察表

遺物 押図 No.	遺物 No.	注記	種別	器種	部位	遺存	寸法 (cm)			焼成	胎土	色調			特徴	備考				
							口径	底径	その他			外面	内面	外面			内面	外面	内面	
1	21	14	SS1	セ 593 SK001C	5	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	-	やや甘い	白色粒子・半透明粒子・雲母・骨針・石英・長石・燧石	10YR6/6 明黄褐色	ナデ	10YR6/6 明黄褐色	平滑ナデ	縄文時代早期後葉	
2	21	14	SS1	セ 593 SK001C	4	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	-	やや甘い	白色粒子・透明粒子・雲母・骨針・石英・長石・燧石	10YR5/4 にぶい黄褐色	具脱条痕	平滑ナデ	襷染により器壁が剥離	縄文時代早期後葉	
3	21	14	SS1	セ 593 SK001C	1-一拵	縄文土器	深鉢	底部	小片	-	-	-	やや甘い	白色粒子・半透明粒子・雲母・骨針・石英・長石・燧石	10YR5/4 にぶい黄褐色	ナデ	襷染により器壁が剥離	ナデ	襷染により器壁が剥離	縄文時代早期後葉
4	21	14	1区	セ 593 1区一拵	1-一拵	弥生土器	甕	頸部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・赤褐色粒子・半透明粒子・骨針・石英・長石	10YR3/2 黒褐色	工具横ナデ	工具横ナデ	工具横ナデ	久ヶ原へ中台式	
5	21	14	S11	セ 593 SK001	9	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	-	やや甘い	白色粒子・赤褐色粒子・半透明粒子・透明粒子・石英・長石・燧石	10YR4/4 褐色	口唇へ口縁部に具脱条痕を施す	横位方向に具脱条痕	横位方向に具脱条痕	縄文時代早期後葉	
6	21	14	S11	セ 593 SK001	12	縄文土器	深鉢	口縁部	小片	-	-	-	やや甘い	白色粒子・透明粒子・雲母・石英・長石	5YR5/6 明褐色	ナデ	具脱条痕	襷染あり	縄文時代早期後葉	
7	21	14	S11	セ 593 SK001	4	弥生土器	広口径	口縁部	小片	-	-	-	良好	白色粒子・透明粒子・雲母・石英・長石	10YR3/2 黒褐色	指り返し口縁	工具横ナデ	口縁部と口唇部に準同層文(丸) スス・コグ付着	中台式	
8	21	14	S11	セ 593 SK001	1-一拵	弥生土器	器種不明	底部	小片	-	-	-	良好	白色粒子・半透明粒子・雲母・骨針・石英・長石	7.5YR6/6 褐色	横方向にヘラケスリ	底部にヘラケスリ	横方向にヘラケスリ	中台式	
9	21	14	S11	セ 593 SK001	17・20・28	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・透明粒子・骨針・石英・長石	10YR7/6 黄褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
10	21	14	S11	セ 593 SK001	15・32	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・雲母・骨針・石英・長石	10YR6/6 明黄褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
11	21	14	S11	セ 593 SK001	19	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・半透明・石英・長石	5YR4/6 明赤褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
12	21	14	S11	セ 593 SK001	13	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・雲母・骨針・石英・長石	5YR5/6 明赤褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
13	21	14	S11	セ 593 SK001	27	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	赤褐色粒子・半透明粒子・骨針・角閃石・石英・長石	5YR4/6 赤褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
14	21	14	S11	セ 593 SK001	10	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	半透明粒子・角閃石・石英・長石	5YR4/6 赤褐色	工具横ナデ	部分間にヘラミガキ	工具横ナデ	中台へ草列式	
15	21	14	S11	セ 593 SK001	30	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	白色粒子・透明粒子・雲母・石英・長石	5YR4/4 にぶい赤褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
16	21	14	S11	セ 593 SK001	7	土師器	甕?	胴部	小片	-	-	-	堅緻	黒色粒子・透明粒子・雲母・骨針・石英・長石	5YR4/4 にぶい赤褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
17	21	14	S11	セ 593 SK001	3・11-一拵	土師器	小型丸底茶鉢	口縁部～胴部	30	13.07	(4.9)	-	良好	白色粒子・透明粒子・骨針・角閃石・石英・長石	10YR6/6 明黄褐色	横方向にヘラケスリ	横方向にヘラケスリ	横方向にヘラケスリ	草列1式	
18	21	14	S11	セ 593 SK001	18	土師器	小型丸底茶鉢	口縁部	小片	-	-	-	良好	角閃石・石英・長石	10YR5/3 にぶい黄褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	草列1式	
19	21	14	S11	セ 593 SK001	22	土師器	ミニチュア土器(小型鉢)	口縁部～底部	100	5.5	3.4	3.5	やや甘い	赤褐色粒子・骨針・石英・長石	2.5YR4/6 赤褐色	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部
20	21	14	S11	セ 593 SK001	16・23	土師器	小型器	口縁部	10	-	-	-	堅緻	赤褐色粒子・雲母・石英・長石	10YR7/4 にぶい黄褐色	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部	口縁部
21	21	14	S11	セ 593 SK001	6	土師器	ミニチュア土器(伊勢台?)	口縁部	小片	-	-	-	良好	白色粒子・雲母・石英・長石	10YR5/3 にぶい黄褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	中台へ草列式	
22	21	14	2区	セ 593 2区一拵	1-一拵	縄文土器	深鉢	胴部	小片	-	-	-	やや甘い	半透明粒子・透明粒子・石英・長石	10YR5/4 にぶい黄褐色	横方向にヘラミガキ	工具横ナデ	工具横ナデ	縄文時代早期後葉	



国土地理院ウェブサイト (<https://mapps.gsi.go.jp/contentsimageDisplay.do?specificationId=432923&isDetail=true>) より、一部改変
遺跡の位置と周辺地形 (昭和36年 国土地理院 撮影)



0 5m
(1/100)

調査区全体 3次元データ (オルソ画像)



ピット集中部 完掘 南から



ピット集中部 完掘 北から



調査前全景 西から



表土掘削



南壁 遺物包含層 検出状況 北西から



調査風景 遺物包含層掘削 北から



南壁 遺物包含層 遺物出土状況1 西から



南壁 遺物包含層 遺物出土状況2 西から



南壁 遺物包含層 遺物出土状況3 北から



Pit22 土層断面 北から



北壁 基本層序 南から



北壁 遺物包含層 南から



SK19 土層断面 南から



SK21 土層断面 南から



SK2 完掘 南から



SK5 完掘 東から



SK5 完掘 南から



SK9 完掘 北から



SK10 焼土検出状況 北から



SK10 完掘 北から



SK12 完掘 北から



SK13 完掘 北から



SK14 完掘 北から



SK15 完掘 北から



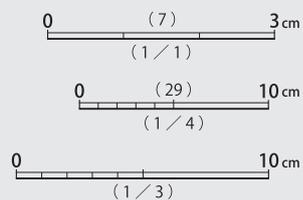
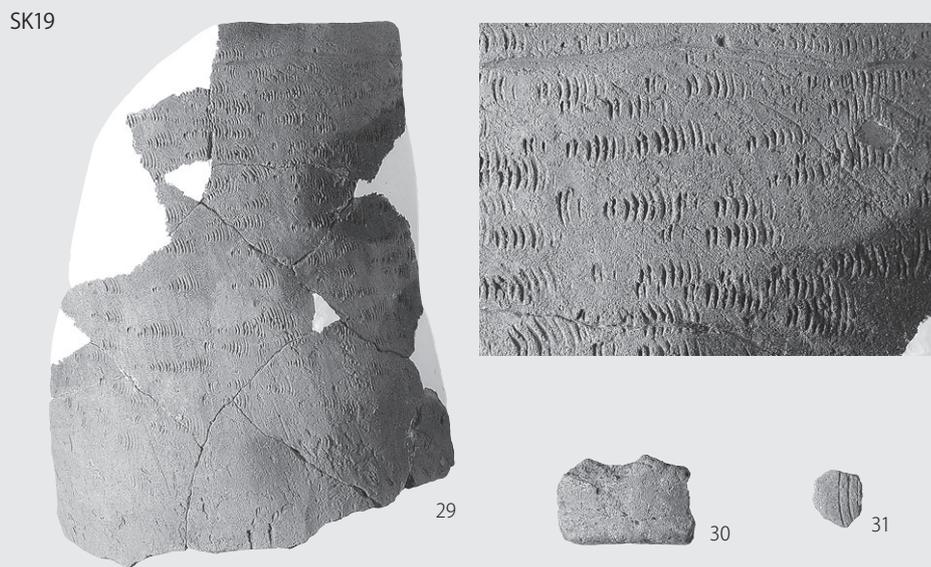
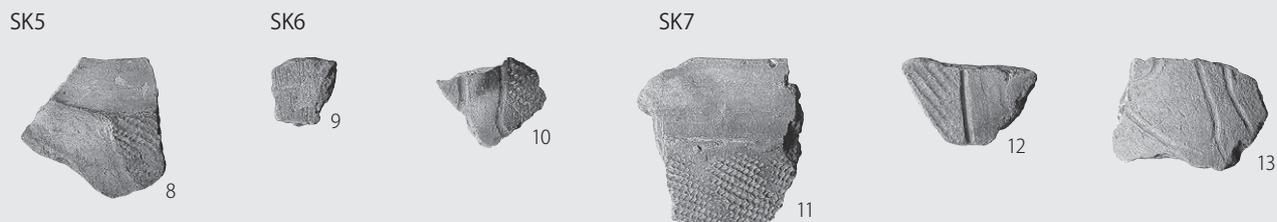
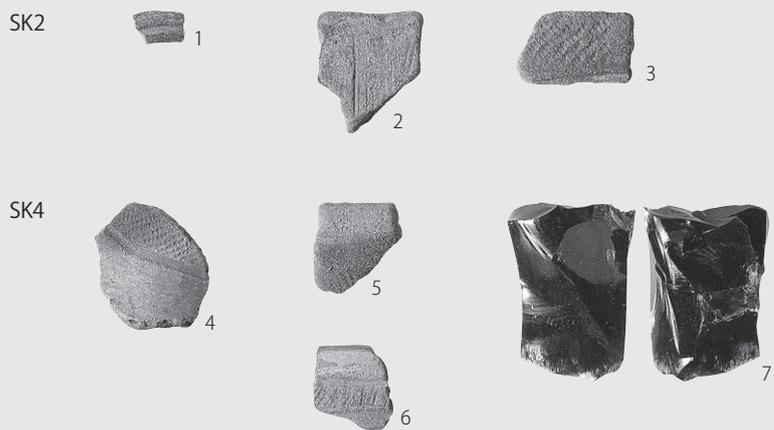
SK16 完掘 北から



SK17・Pit3 北から



遺物包含層 37 (縮尺不同)



SK21



遺物包含層



Pit1



Pit12



Pit18



Pit19



Pit22



Pit24



Pit42



Pit47



Pit49



Pit52



Pit58



Pit62



Pit73



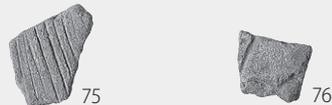
Pit77



Pit82



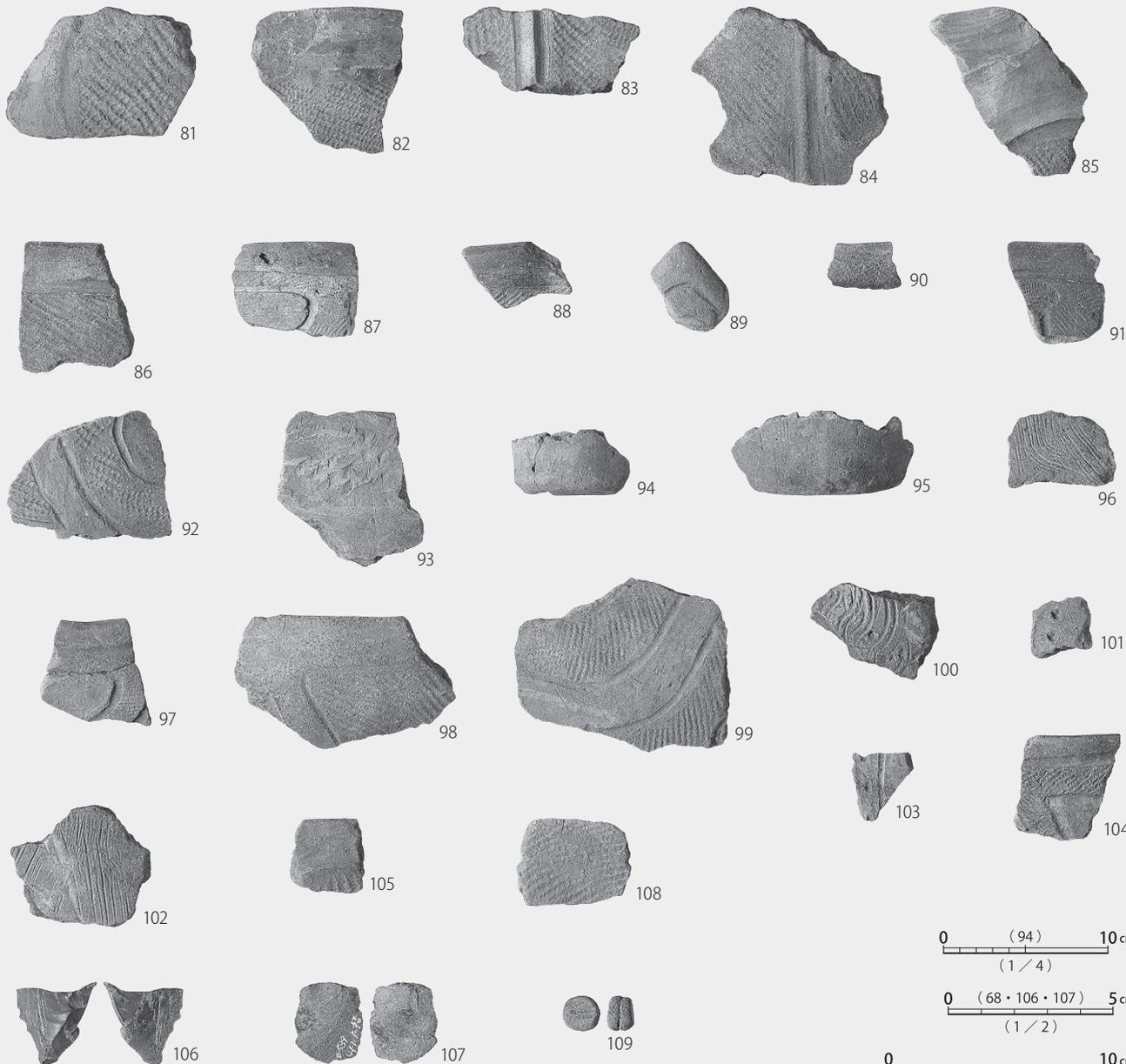
Pit78



Pit80



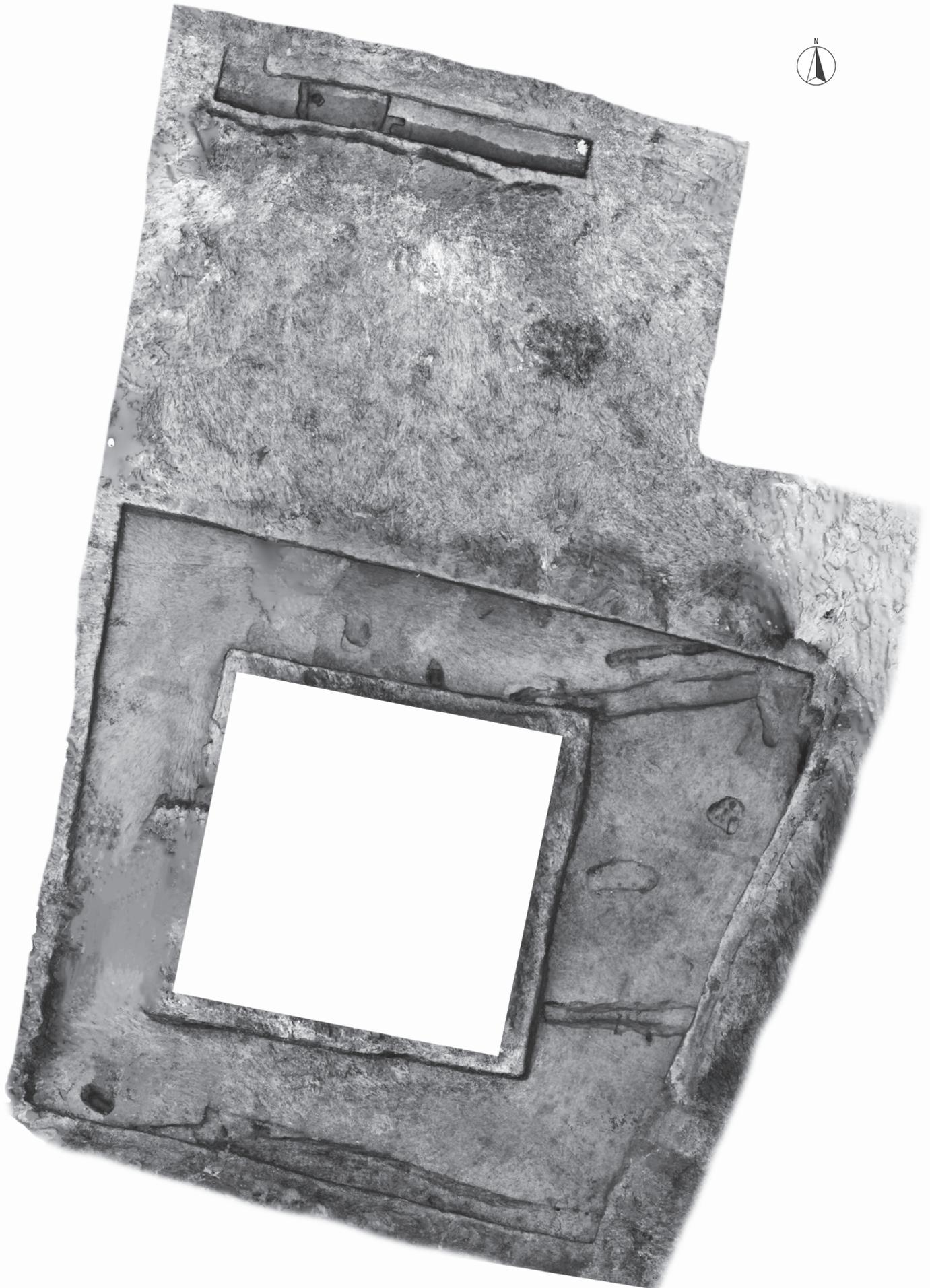
遺構外



0 (94) 10cm
(1/4)

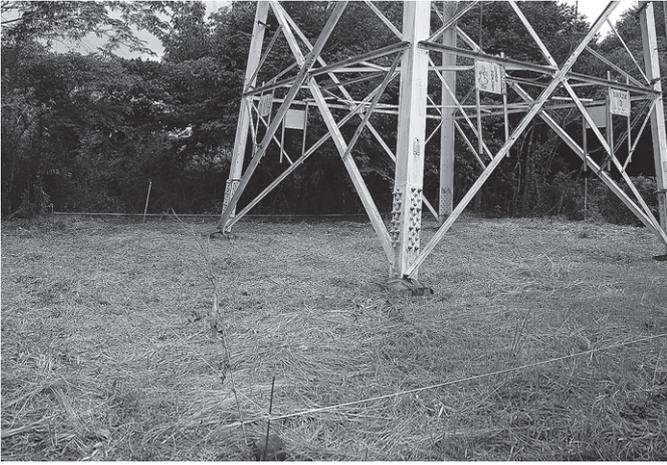
0 (68・106・107) 5cm
(1/2)

0 10cm
(1/3)

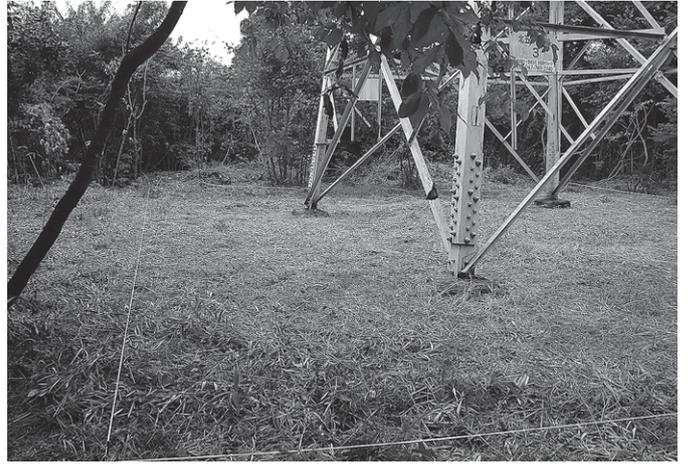


調査区全体 3次元データ（オルソ画像）

0 5m
(1/200)



調査前状況 1区 南から



調査前状況 2区 南から



表土掘削状況



SS1 検出状況 北から



調査風景



SS1(南側周構) 土層断面1 西から



SS1(東側周構) 土層断面2 西から



SS1(北側周構) 土層断面3 東から



SS1(北側周構) 盛土検出状況 1 東から



1区基本土層(東面)・SS1 盛土検出状況 2 西から



SS1(北側周構)・SK5 土層断面 北西から



SK5 土層断面 北西から



SS1 完掘 北から



SS1(北側周構) 完掘 西から



SS1(南側周構) 完掘 東から



SS2 完掘 西から



1区基本土層(北面)南から



SD2 完掘 東から



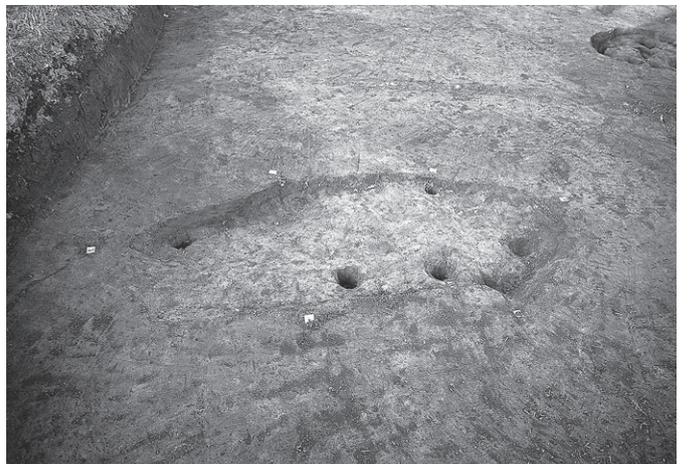
SD1 完掘 西から



SK1 土層断面 北東から



SK1 土層断面 南東から



SK2 完掘 南から



SK4 完掘 北から



Pit1 焼土範囲 完掘 東から



SI1 焼土 検出状況 北西から



SI1 遺物出土状況 北東から



SI1 土層断面 北から



SI1 完掘 西から



SI1 19 (縮尺不同)

SS1



1



2



3

1区



4

SI1



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17

2区



18



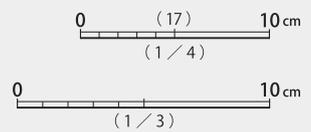
20



21



22



報告書抄録

ふりがな	いちはらしのうまんぶんくいせきぐん(かみこかいづかちくだい6ちてん)・おぎさくみやのだいいせき・おぎさくやかたあと							
書名	市原市能満分区遺跡群(上小貝塚地区第6地点)・荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書							
シリーズ番号	第56集							
編著者名	鈴木 宏和							
編集機関	市原市埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 TEL 0436(41)9000							
発行年月日	2022年(令和4年)3月18日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
のうまんぶんくいせきぐん 能満分区遺跡群 (かみこかいづかちくだい6ちてん) (上小貝塚地区第6地点)	ちぼけんいちはらしのうまんあざかみこかいづか 千葉県市原市能満字上小貝塚 1925-276	12219	780	35° 29' 56"	140° 08' 39"	20210816 ～ 20210824 20211004 ～ 20211021	22.2㎡/222㎡ (確認調査) 222㎡ (本調査)	鉄塔 増強工事
おぎさくみやのだいいせき 荻作宮ノ台遺跡	ちぼけんいちはらしおぎさくあざみやのだい 千葉県市原市荻作字宮ノ台 305-4他	12219	827	35° 30' 05"	140° 09' 44"	20210825 ～ 20210903	74.5㎡/745㎡ (確認調査)	鉄塔 増強工事
おぎさくやかたあと 荻作館跡	ちぼけんいちはらしおぎさくあざみやのだい 千葉県市原市荻作字宮ノ台 305-4他	12219	991			20211020 ～ 20211115	745㎡ (本調査)	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構			主な遺物	特記事項	
能満分区遺跡群 (上小貝塚地区第6地点)	包蔵地、 集落跡、 貝塚	縄文時代	縄文時代土坑21基、縄文時代ピット82基			縄文土器・石器・ 土製品	縄文時代の土坑・ピット から縄文時代中期 ～後期の土器・石器・ 土製品を検出した。	
荻作宮ノ台遺跡・ 荻作館跡	包蔵地、 城館跡	縄文時代、 弥生時代、 古墳時代	弥生時代土坑5基、弥生時代ピット1基、 弥生時代方形周溝墓2基、古墳時代竪穴建 物跡1棟、古墳時代土坑1基、古墳時代溝 1条、時期不明溝1条			弥生時代土器、 古墳時代土師器	弥生時代の方形周溝 墓・土坑および古墳時 代の竪穴建物跡・溝・ 土坑を検出した。	
要 約	<p>能満分区遺跡群(上小貝塚地区)は、村田川水系の二つの小支谷に挟まれた台地上に所在する、標高42mの平坦面に位置している。今回は第6地点の調査を行い、縄文時代中期後葉～後期前葉の土坑21基、ピット82基を検出した。さらに調査区南側で縄文時代中期後葉～後期前葉の遺物包含層を検出し、層中からは多数の縄文土器・石器の出土を確認した。今回の調査によって、第2地点の南側にも縄文時代の活動痕跡が展開することが判明した。</p> <p>荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡は、神崎川右岸の標高44m程度の舌状台地上に位置している。今回の調査では、弥生時代中期～後期の方形周溝墓2基、弥生時代土坑5基、弥生時代ピット1基、古墳時代前期の竪穴建物跡1棟、古墳時代土坑1基、古墳時代溝1条、時期不明溝1条を検出した。今回の調査によって、弥生時代中期後葉～古墳時代前期の人々の活動が祭り野遺跡の南西側にも及んでいたことが判明した。</p>							

市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第56集

市原市
能満分区遺跡群（上小貝塚地区第6地点）・
荻作宮ノ台遺跡・荻作館跡

令和4年3月18日 発行

編 集	市原市埋蔵文化財調査センター 千葉県市原市能満1489 TEL 0436(41)9000
発 行	東京電力パワーグリッド株式会社 市原市教育委員会 千葉県市原市国分寺台中央1-1-1 TEL 0436(22)1111
印 刷	株式会社 弘 文 社 千葉県市川市市川南2-7-2 TEL 047(324)5977